

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|---------|--------|---|--------------------------|--------------------------------|
| 1 | 身体（腰部） | 水中 | 腰部障害者の運動療法について（とくに水中療法の意義について） | 鈴木 秀雄 | 関西労働医学研究所 |
| 2 | 脊髄損傷 | トレーニング | 脊髄損傷者に対するスポーツ・トレーニング | 大胡田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 3 | 脊髄損傷 | 指導 | 車椅子競技選手の指導 -森本雅美選手（トロンリソピアード・スラローム優勝者）の指導記録- | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 4 | 脊髄損傷 | 運動 | 脊髄損傷者（対麻痺）に対する自己R・O・M体操について | 北村 昭子 | 国立療養所箱根病院 |
| 5 | 身体 | 水泳 | 大阪市身体障害者スポーツセンターにおけるスポーツ教室について | 中森 邦男 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 6 | ポリオ | 卓球・スキー | 身体障害者とテーピング | 魚住 広信 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 7 | 脊髄損傷 | アーチェリー | 脊髄損傷者に対する洋弓の筋電図学的考察 | 大胡田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 8 | 身体 | アーチェリー | 洋弓における習熟過程の検討 | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 9 | 身体 | 運動 | 身体障害を持つ中高齢者に対するスポーツ効果について | 土井 龍雄 市川 宣恭 | 岸和田市立福祉総合センター 大阪市立大学医学部整形外科 |
| 10 | 脊髄損傷 | 体力 | 脊髄損傷者の体力について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター・センター体育科 |
| 11 | 視覚 | 体力 | 中途失明者の体力 | 渡辺 清 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 12 | 脳血管障害がい | 卓球 | 脳血管障害片麻痺者に対するメディカルスポーツ・セラピー | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 13 | 脳血管障害がい | セラピー | 脳血管障害片麻痺者に対するスポーツ・セラピー-過去3年における統計的監察- | 水原 由明 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 14 | 身体 | 運動 | 勤労身体障害者の余暇スポーツ活動 | 葉田 豊秋 増 田 和茂 島田 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 15 | 脳血管障害がい | リズム体操 | 脳血管障害片麻痺者のリズム訓練（リトミックの導入） | 青木 久枝 | 湯河原厚生年金病院リハビリテーション室体操訓練 |
| 16 | 身体 | 外傷と障害 | 大阪市身体障害者スポーツセンターにおける過去3年間の身障者スポーツ外傷と障害 | 市川 宣恭 越川 亮 | 大阪市立大学医学部整形外科 |
| 17 | 脳性麻痺 | スポーツ | 肢体不自由者とスポーツ：特に脳性麻痺者との関わりにおける問題点と今後の課題 | 中川 一彦 | 国立身体障害センター主任体育訓練専門職 |

第1集
1977年

| 第2集 1978年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|--------------|----------|---------|---------------|---|-----------------------------|--------------------------|
| | 18 | 脳性麻痺 | 卓球 | 中・重度脳性麻痺者に対する卓球の試み | 尾鷲 誠 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 19 | 頸髄損傷 | 卓球 | 頸髄損傷者の卓球における手首の固定について | 丸山 正光 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 20 | 身体 | 卓球 | バタフライロボットを利用した初心者卓球指導の一考察 | 川口 清隆 葉田 豊秋 谷 幸子 増田 和茂 辻 良子 | 兵庫県玉津福祉センターリハビリテーションセンター |
| | 21 | 身体 | 卓球 | 肢体不自由者の卓球指導について | 小林 智志 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 22 | 身体 | マラソン | 身体障害者の健康人マラソン大会参加についてー参加者の背景に関する基礎調査ー | 大胡田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 23 | 脊髄損傷 | 機能検査 | 腰部障害における脊柱機能検査 (Kraus-Weber Test 変法) 法の意義について | 鈴木 秀雄 | 関西労働医学研究所 |
| | 24 | 脊髄損傷 | 水泳 | 頸髄損傷の水泳指導について | 川崎 二三子 西野 伊三郎 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 25 | 身体 | 水泳 | 重度肢体不自由者の水泳指導 | 中森 邦男 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 26 | 脳血管障害がい | 水泳 | 片麻痺者（脳血管障害者）における泳法の考察 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 27 | 重複 | 水泳 | 重複障害児の水泳指導について | 櫛 歳恵 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 28 | 身体 | 水泳 | 1950年代の文献にみる障害者のための水泳指導 | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 29 | 身体 | 空手 | 身体障害者と空手について | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 30 | 身体 | 車椅子ダンス | 重度身体障害者とWheel chair Square Dancing | 青木 久枝 | 湯河原厚生年金病院 |
| | 31 | 重度肢体 | 測定 | 重度肢体不自由の運動負荷 E C G 測定に関する-考察 | 葉田 豊秋 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 32 | 脳血管障害がい | 測定 | 片麻痺歩行開始時の過度現象について | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 33 | 身体 | 測定 | 柔軟性測定方法について一案 - 座位体前屈 - | 土井 龍雄 | 岸和田市立福祉総合センター |
| 34 | 筋ジストロフィー | 運動療法 | 新しい運動 - 操体法 - | 北田 洋三 | 運動療法研究所 | |

| 第3集 1979年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|--------------|-----|---------|-------------------------------------|---|------------------|----------------------------|
| | 35 | 身体 | 野球 | 肢体不自由者の軟式野球について | 葉田 豊秋 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 36 | 身体 | レクリエーション | 神奈川リハビリテーション病院におけるレクリエーションの導入に関する研究 | 渡辺 清 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 37 | 身体 児童 | 道具 | 道具の種類 | 林 暁子 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 38 | 身体 | アーチェリー | わが国における身障アーチェリークラブの現状について | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 39 | 身体 | アーチェリー | アーチェリー教室における指導過程について | 吉村 龍彦 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 40 | 身体 | アーチェリー | 肢体不自由者と洋弓指導上の留意点に関して | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 41 | 脳性麻痺 | 体育訓練指導法 | 私の脳性麻痺 体育訓練指導法 | 高垣 勝勅 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 42 | 脳性麻痺 | 学習効果の検討 | 脳性麻痺の学習効果の検討 | 大胡田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 43 | 脳血管障害がい | 体力評価 | 片麻痺患者の体力評価－椅子からの立ち上がりによる漸増負荷方法の検討 | 田迎 方夫 高木 秀峰 | 伊豆通信病院 湯河原厚生年金病院 |
| | 44 | 脳血管障害がい | 歩行評価 | 片麻痺の痙性足関節に対するAthletic Tapingの応用－歩行時の下腿筋の活動様相について－ | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 45 | 脳血管障害がい | 筋力 | 軽度片麻痺患者患側下肢の筋力について | 青木 久枝 高木 秀峰 | 湯河原厚生年金病院 |
| | 46 | 脊髄損傷 | 卓球 | 上位頸髄損傷者の卓球効果とその考察 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 47 | 腰痛 | 評価 | 「腰痛と脊柱機能について」 | 田路 修一他 市川 宣恭他 | 関西労働医学研究所 大阪市立大学医学部整形外科 |
| | 48 | 情緒障害児 | 水泳 | 情緒障害児（等）の水泳教室 | 中森 郁夫 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 49 | 審判員 | 車椅子バスケットボール | 車椅子使用者による審判の試み（車椅子バスケットボールについて） | 増田 和茂 中川 洋子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 50 | 身体 | 体育訓練指導法 | 当センターにおけるリハビリテーション体育訓練のかかわりについて「過去6年間の推移より」 | 川崎 二三子 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 51 | 身体 | スキー | 第16回RIDDERRENNET（国際視覚障害者スキー大会）に参加して | 魚住 広信 | 大阪市身体障害者スポーツセンター | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|---------|----------------|--|------------------|----------------------------|
| 52 | 重度 身体 | 軽スポーツ | 重度肢体不自由者の軽スポーツ種目の開発（ミニゴルフの導入について） | 葉田 豊秋 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 53 | 重複 | | 重複障害児の本校における指導の1例 | 桑山 義昭 | 大阪市立聾学校 |
| 54 | 身体 | 組織 | オランダの障害者のスポーツ組織について | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| 55 | 身体 | スラローム | 車椅子スラローム競技の指導法 | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 56 | 身体 | 卓球 | 肢体不自由者の卓球指導に関する一考察 | 嶋内 高之 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 57 | 聴覚言語 | バレーボール | 聴覚言語障害者のバレーボール指導についての一考察 | 川口 清隆 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 58 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 地域における車椅子バスケットボール競技会の現状（その1）（成立過程と現状の紹介） | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 59 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 地域における車椅子バスケットボール競技会の現状（その2）（チームとゲームを中心に） | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 60 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボール参加状況 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 61 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボールのルール研究のための予備ノート（Dr.James.A.Naismith 4原則・13条ルールについて） | 渡辺 清 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 62 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボール審判技術習得のための練習 | 杉村 眞世 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 63 | 身体 | 水泳 | 各障害における水泳指導上の留意点 | 中森 邦男 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 64 | 身体 | 運動療法 | 腰痛におけるダイナミック療法と従来の運動療法との比較 | 田路 修一他 市川 宣恭他 | 関西労働医学研究所 大阪市立大学医学部整形外科 |
| 65 | 脳性麻痺 | ゲートボール | 成人脳性麻痺のスポーツセラピー（ゲートボールの試み） | 大和田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 66 | 脳性麻痺 | 水泳 | 水中訓練を通して脳性麻痺児（者）がリラクゼーションを習得するまでの一考察 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 67 | 脊髄損傷 | 膝伸展のパワー（瞬発力）測定 | 痙性麻痺下肢における膝伸展のパワー（瞬発力） | 高木 秀峰 | 湯河原厚生年金病院 |
| 68 | 脳血管障害がい | Ball投球 | 脳血管障害片麻痺のBall投球、捕球動作の筋電図学的研究 | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 69 | 脳血管障害がい | グループ訓練 | 脳卒中中のグループ訓練に対する一参考 ー第一報ー | 赤見 光二 | 中伊豆温泉病院 |
| 70 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 1980年 OLINPICS FOR THE DISABLED における日本車いすバスケットボールチームの反省 | 藤原 進一郎 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |

第4集
1980年

| 第5集 1981年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|--------------|-------|-------------------|---|--|------------------|---------------------|
| | 71 | 身体 | サイクルスポーツ | 身体障害者とサイクルスポーツ（用具と実走） | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 72 | 脊髄損傷 | トレーニング | 簡易トレーニング器具（車椅子乗用車によるトレーニング効果から） | 村川 こずえ | スポーツプログラムス |
| | 73 | 脳性麻痺 | 水泳 | 脳性麻痺児（小学生以下）の水泳指導 | 中森 邦男 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 74 | 脳性麻痺 | 卓球 | 脳性麻痺者の卓球指導 | 嶋内 高之 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 75 | 視覚 | マット運動 | 視覚障害者のマット運動について | 山下 義則 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 76 | 視覚 | スキー | 視覚障害者のスキーの実際 | 古畑 英雄 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 77 | 脊髄損傷 | 卓球 | 車椅子競技の指導 | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 78 | モルキオ症児（骨軟骨形成異常症児） | 跳躍動作 | モルキオ症児（骨軟骨形成異常症児）の跳躍動作（特に立幅とび動作について） | 神田 英治 | 国立特殊教育総合研究所 |
| | 79 | 心身 | ダンス | 心身障害者のダンス・セラピー | 青木 久枝 | 湯河原厚生年金病院 |
| | 80 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 女性向けスポーツ種目の開発（車椅子ミニバスケットボールの導入について） | 葉田 豊秋 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 81 | 脊髄損傷 | グループ訓練 | 車椅子乗用車（脊髄損傷など）の訓練効果に及ぼす知的理解度の影響 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 82 | 身体 | 軽年の追跡調査 | 頸骨腕症候群・腰痛の多発する保母の発病の体力の関連性に関する研究 - 第一報 - （軽年の追跡調査の結果から） | 土井 龍雄 | 関西スポーツ科学研究所 |
| | 83 | 腰部障がい | ダイナミック療法 | スポーツ選手の腰部障害に対するダイナミック療法について | 秋葉 敬治 | 関西スポーツ科学研究所 |
| | 84 | 片麻痺 | リズム効果 | 片麻痺の Side step におけるリズム効果 | 金親 美千代 | 湯河原厚生年金病院 |
| | 85 | 脳卒中 | グループ訓練 | 当病院の脳卒中グループ訓練 - 第2報 - | 赤見 光二 | 中伊豆温泉病院 |
| | 86 | 慢性関節リウマチ | 運動療法 | 慢性関節リウマチの運動療法（Group によるリウマチ体操、一報） | 井上 均 | 中伊豆温泉病院 |
| 87 | 運動失調症 | 足関節テーピング | 運動失調症の歩行に対する足関節テーピングの試み - 第一報 -（身体負担度による検討） | 大胡田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター | |
| 88 | 身体 | 体育・スポーツ療法 | 四肢切断者と体育・スポーツ療法 | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|----------|---------------------|---|--------|----------------------|
| 89 | 脳性麻痺 | 水泳 | 脳性麻痺児水泳指導（第2報） | 中森 邦男 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 90 | 肢体 | スポーツ教室 | 肢体不自由者とその保護者を対象者としたスポーツ教室の試み | 福田 美穂 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 91 | 脳性麻痺 | スポーツ | 重度脳性麻痺者のスポーツ | 山下 義則 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 92 | 身体 | 車椅子ジョギング | 車椅子ジョギング大会に関する一考察 | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 93 | 身体 | ツーリング (touring) 車イス | ツーリング (touring) 車イスの制作に関する一考察 | 葉田 豊秋 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 94 | 身体 | レクリエーション | 身体障害者の屋外レクリエーションの指導 -FREE WHEELING GAMEについて- | 神田 英治 | 国立特殊教育総合研究所 |
| 95 | 身体 | 行動制限因子 | 車椅子乗用者の行動制限因子の考察 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 96 | 片麻痺 | 運動能力の把握 | 片麻痺患者の運動能力の把握について | 松下 光 | 奥鹿教湯温泉病院 |
| 97 | 片麻痺 | ウォーキング | 片麻痺患者に対する 5 - min, walking と step test の比較検討 | 上野 いずみ | 奥鹿教湯温泉病院 |
| 98 | 慢性関節リウマチ | 運動療法 | 慢性関節リウマチの運動療法 (Group によるリウマチ体操、第2報) | 井上 均 | 中伊豆温泉病院 |
| 99 | 身体 | アーチェリー | わが国における身障アーチャー中上級者の実態について | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 100 | 脳性麻痺 | アーチェリー | 重度障害者とアーチェリー -脳性麻痺 (アテトイド型) とサリドマイド (両上肢完全欠損) の事例研究 | 指宿 忠明 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 101 | 身体 | 水泳 | 身体障害者の遠泳 | 山本 正子 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 102 | 視覚 | バレーボール | 地域での視覚障害者のスポーツ普及 -第1回神奈川盲人バレーボール大会- | 古畑 英雄 | 七沢ライトホーム |
| 103 | 視覚 | スキー | 地域での視覚障害者のスポーツ普及 -在宅障害者のスキー- | 増田 良一 | 神奈川県ライトセンター |
| 104 | 頸髄損傷 | バスケットボール | 上位頸髄損傷者のバスケットボール競技 (第1報) | 尾鷲 誠 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 105 | 腰部障害 | ダイナミック運動療法 | 腰痛における「ダイナミック運動療法」の追跡調査について -特に脊椎分離症を中心として- | 田路 秀一 | 関西スポーツ科学研究所 |
| 106 | 競走用車椅子 | 競走用車椅子 | 競走用車椅子について | 金田 安正 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター |
| 107 | 身体 | 陸上 | シンポジウム「身体障害者スポーツ選手の育成」①車椅子60・100m競争の指導法 | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 108 | 身体 | 車椅子スラローム | シンポジウム「身体障害者スポーツ選手の育成」②車椅子スラローム競技の指導 | 高垣 勝勅 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 109 | 身体 | アーチェリー | シンポジウム「身体障害者スポーツ選手の育成」③アーチェリー：脊髄損傷と片下肢切断・機能障害 | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 110 | その他 | | 特別共演 中華民国・台湾の障害体育・スポーツの現状について | 林 蔓恵 | 台北市民生国民中国 |

第6集
1982年

| 第7集 1983年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|--------------|-----|--------|--------------|--|------------------|---------------------|
| | 111 | 切断 | 文化史 | 切断者スポーツの文化史 | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 112 | 切断 | 水泳 | 両下肢切断者の水泳 | 中森 邦男 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 113 | 切断 | 水泳 | 四肢切断とサリドマイド（先天性両上肢完全欠損）の運動処方－水泳について－ | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 114 | 切断 | スポーツ | 切断者のスポーツ | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 115 | 肢体不自由 | スポーツ教室 | 重度肢体不自由児のスポーツ教室 | 福田 美穂 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 116 | 脳性麻痺 | スポーツ教室 | 重度脳性麻痺者のスポーツ(第2報) | 山下 義則 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 117 | レイノー現象 | 治療 | 振動障害者と健常者との手指冷却負荷時の皮膚温の変化に対する比較、検討 | 中島 睦樹 | 奥鹿教湯温泉病院 |
| | 118 | 腰部障がい | 評価 | 障害児担当保母の腰部障害 | 土井 龍雄 | 関西スポーツ科学研究所 |
| | 119 | その他 | 施設管理 | 身体障害者体育施設の現状と課題－施設とその運営を中心に－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 120 | 脳血管障がい | ダンス | 体育訓練と音楽・ダンス－CVA患者におけるリズム運動の試み－ | 上野 いずみ | 奥鹿教湯温泉病院 |
| | 121 | 片麻痺 | 水泳 | 水泳による片マヒ者の体力トレーニング－有酸素的作業能について－ | 石原 俊樹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 122 | 片麻痺 | トレーニング | 当病院における片麻痺の維持訓練プログラムについて | 赤見 光二 | 中伊豆温泉病院 |
| | 123 | 精神 | | 精神疾患患者の状態と身体活動量との関係 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 124 | 身体障がい | 車いす | 車いす使用者の車いす操作能力評価に関する一考察 | 葉田 豊秋 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 125 | 脊髄損傷 | 車いすテニス | 車椅子者（脊髄損傷者）に対するテニス指導の試み | 村上 茂子 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 126 | 肢体 | 車椅子バスケットボール | USA車椅子バスケットボール競技ナショナルチームの障害クラスと競技力との関係について | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 127 | 視覚 | スキー | 地域での視覚障害者スキーの普及－米国スキーフォアライトを参考として－ | 古畑 英雄 | 七沢ライトホーム |
| 128 | 肢体 | スキー | 肢体不自由者と歩くスキー | 魚住 廣信 | 大阪市身体障害者スポーツセンター | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|----------|-----------|--|--------|----------------------|
| 129 | 精神・知的障がい | スポーツ教室 | 精神薄弱児・情緒障害児を対象としたスポーツ教室の試み | 山下 義則 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 130 | 知的障がい | 剣道 | 大阪市身体障害者スポーツセンターにおける剣道教室－精薄児4名について－ | 小林 智志 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 131 | その他 | 運動発達 | 運動面からみた発達段階判定の－方法 | 長野 順治 | 大阪市立住之江養護学校 |
| 132 | 知的障がい | 運動発達 | 精神発達と運動発達の関わりを大切に | 湯川 静信 | 大阪教育大学付属養護学校 |
| 133 | 身体 | アーチェリー | 身障者へのアーチェリー指導（アーチェリー射法八節）についての－考察 | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 134 | 身体 | 大会報告 | 1984年国際身体障害者スポーツ大会の報告 | 天本 秀晃 | 成器高等学校 |
| 135 | 身体 | マラソン | 競技用車椅子について－第3回大分国際マラソン大会出場者にみる車椅子の留意点・工夫点について | 金田 安正 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター |
| 136 | その他 | 車椅子 | 車椅子ダッシュ時の加速度変化について | 石原 俊樹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 137 | その他 | 利用状況 | 東京都多摩障害者スポーツセンターの利用状況について | 高橋 久美 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 138 | 身体 | 競技団体 | 身体障害者スポーツの組織化と現状－兵庫県の場合－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 139 | 身体 | スポーツ | 「身体障害者のスポーツ」のとらえ方 | 藤原 進一郎 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 140 | 知的障がい | リズム運動 | 精神薄弱者体育場面でのリズム運動の試み | 最勝寺 久和 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 141 | 知的障がい | 有酸素トレーニング | 精神薄弱者の生活環境の変化と有酸素トレーニングの試みによる身体的・精神的変化と今後の方向づけ | 片山 敏克 | 福岡市立障害者スポーツセンター |
| 142 | 知的障がい | 水泳 | 精薄児等のグループによる水泳指導 | 中森 邦男 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 143 | 片麻痺 | ソフトボール | グループ訓練－片麻痺ソフトボールの試み－ | 高垣 勝勅 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 144 | その他 | グループ指導 | グループ指導に関する－考察－兵庫県玉津福祉センターの場合－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 145 | 脳性麻痺 | ダンス | 脳性麻痺者のエアロビック・ダンス | 山本 正子 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 146 | 心身障がい | ビリヤード | 障害者に対するビリヤードの試み | 指宿 忠昭 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 147 | 肢体不自由 | 卓球 | 肢体不自由者の卓球に関する－考察 | 魚住 廣信 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |

第8集
1984年

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|----------|-------------|---|--------|----------------------|
| 148 | 身体 | アーチェリー | わが国における身体障害者アーチェリーの創設期について | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 149 | 身体 | アーチェリー | 国際大会派遣の身体障害者アーチャーについて | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 150 | 身体 | | 身体障害者職業訓練生の運動要求とその変化について | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 151 | 身体・精神・知的 | レクリエーション | 肢体不自由者、情緒障害児（者）、精神薄弱児（者）の合同レクリエーション活動モデルプランニングに関する一考察 | 葉田 豊秋 | 浜坂温泉保養荘 |
| 152 | 脳血管障がい | ゲートボール | 脳血管障害者のゲートボール | 松崎 正治 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 153 | 身体 | テニス | 85飯塚国際車椅子テニス大会参加報告（神奈川県選手団付添として） | 最勝寺 久和 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 154 | 身体 | | 第34回国際ストーク・マンデビル競技会に参加して | 山下 義則 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 155 | その他 | | 兵庫県におけるトリム推進事業の試み | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 156 | 身体 | | 身体障害者スポーツ政策に関する基礎研究 | 渡辺 清 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 157 | 身体 | 研修 | 身体障害者スポーツ指導者研修（地方）の現状 | 金田 安正 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター |
| 158 | その他 | | ヨーロッパの障害者スポーツ ～その先進性と日本との比較～ | 芝田 徳造 | 立命館大学 |
| 159 | その他 | 車椅子運動 | 車椅子運動のエネルギー効率 | 小林 培男 | 日本福祉大学 |
| 160 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 西ドイツ車椅子バスケットボール選手の体力 | 石原 俊樹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 161 | 脊髄損傷 | 水泳 | 頸髄損傷者の水泳中における心拍数変動 | 近藤 照彦 | 群馬県沢渡温泉病院 |
| 162 | 神経疾患 | | 神経筋疾患者の運動持続性に関する基礎研究－肘関節屈曲力の随意等尺性最大筋力の経時的変化－ | 大胡田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 163 | その他 | | 背筋力数字と腰痛症回復について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |

第9集
1985年

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|-------------|--|--------|---------------------|
| 164 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 第15回日本車椅子バスケットボール選手権大会に関する一考察－選手と試合について－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 165 | 高齢者 | | 高齢者のスポーツ医学 | 大城 忠 | 大阪府立身体障害者福祉センター |
| 166 | 脊髄損傷 | 体力評価 | 脊髄・頸髄損傷者の体力評価の方法について | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 167 | その他 | 陸上 | 高等部1年生に短距離走を指導して | 綾部 正弘 | 大阪府立堺養護学校 |
| 168 | 身体 | | サリドマイド胎芽病 (Phocomelia)の体力－肺機能と有酸素作業能について－ | 近藤 照彦 | 群馬県沢渡温泉病院 |
| 169 | 脳血管障がい | 体力評価 | 脳卒中片麻痺者の体力評価と臨床応用－踏台昇降テストからみた全身持久性の検討－ | 大胡田 茂夫 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 170 | 身体 | 車椅子マラソン | 大分国際車椅子マラソン大会参加選手の実態 | 大川 裕行 | 産業医科大学病院 |
| 171 | 身体 | 大会報告 | 第35回国際ストークマンデビル競技大会報告 | 水原 由明 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 172 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボールの運動強度について | 森嶋 勉 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 173 | 身体 | 陸上 | 車椅子競争の特性と動作分析 | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 174 | 高齢者 | | 高齢慢性呼吸器疾患者の有酸素作業能 | 小林 培男 | 日本福祉大学 |
| 175 | 脊髄損傷 | ダイビング | 頸髄損傷者のアクアダイビングによる呼吸訓練の試み | 尾鷲 誠 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 176 | 重度肢体 | | 重症児施設におけるスポーツ・セラピー | 西野 伊三郎 | みさかえの園むつみの家 |
| 177 | 重度肢体 | レクリエーション | 重度身体障害者療護施設におけるスポーツ・レクリエーション活動 | 吉沢 真澄 | 埼玉県社会福祉事業団皆光園 |
| 178 | 高齢者 | 体育 | 中・高齢者に対するリハビリテーション体育の役割 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 179 | 知的障がい | | 在宅精神薄弱児におけるスポーツの社会的成立基盤に関する研究－特に母親の生活構造とのかかわりから－ | 渡辺 清 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 180 | その他 | 利用状況 | 東京都障害者総合スポーツセンターの施設紹介と利用状況について | 近藤 和夫 | 東京都障害者総合スポーツセンター |
| 181 | その他 | 組織 | イギリスにおける障害者のためのスポーツ組織 | 中川 一彦 | 筑波大学 |

第10集
1986年

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|-------------|---|--------|----------------------|
| 182 | 身体障がい | | 「動作反応ゾーンテスト」の試み | 鬼沢 智子 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| 183 | 脳性麻痺 | | 脳性麻痺者のマット運動中の心拍数から見た呼吸循環系への影響 | 廣田 博子 | 東京都多摩更生園 |
| 184 | 知的障がい | 体力測定 | 「精神薄弱児の体力測定」について | 長部 弘子 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 185 | 視覚 | 体力評価 | 盲学校における体力診断テスト・運動能力テストに関する一考察 ー筑波大学附属盲学校 中・高等部における実践例からー | 原田 清生 | 筑波大学附属盲学校 |
| 186 | 視覚 | | 視覚に障害を受けた者の障害と肥満との関係 | 田中 信行 | 国立神戸視力障害センター |
| 187 | 脊髄損傷 | 体力評価 | 脊髄損傷者の身体鍛錬度からみた体力診断測定結果の考察ー特に形態（皮脂厚）測定からー | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 188 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボール選手の体力測定項目について | 水原 由明 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 189 | 重度肢体 | 体力評価 | 障害者の体力の評価方法ーリハビリテーション中の重度障害者に対する一考察ー | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 190 | 脳血管障がい | 体力評価 | 脳血管障害片麻痺者の全身持久力評価方法についての検討 | 石原 俊樹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 191 | 身体 | 体力評価 | 失調症の体育評価方法の検討 | 最勝寺 久和 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 192 | 高齢者 | 体力評価 | 高齢者の体力ーその継時的変化についてー | 大澤 弘子 | 鶴巻温泉病院 |
| 193 | 肢体 | 体力評価 | 測定項目と評価方法の現状について（肢体障害について） ーリハビリテーション体育実施施設よりー | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 194 | その他 | 体力 | 障害者の体力を再考する | 矢部 京之助 | 名古屋大学 |
| 195 | 発達障がい | 水泳 | 諫早スイミング・クラブにおけるハンディキャップ・コースの現状 | 西野 伊三郎 | 長崎県みさかえの園むつみの家 |
| 196 | 脳血管障がい | 水泳 | 片麻痺者の水泳指導 | 大久保 春美 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| 197 | 内部障がい | 水泳 | 人工透析者の水泳の運動処方について（第一報） | 臼杵 瑞子 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 198 | 脊髄損傷 | 水泳 | 呼吸機能からみた頸髄損傷者の水泳療法効果の検討 | 近藤 照彦 | 群馬県沢渡温泉病院 |
| 199 | 視覚 | バスケットボール | 視覚障害者のためのバスケット開発（第一報） | 加藤 博志 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター |
| 200 | 視覚 | 意識調査 | 視覚障害者のスポーツ活動に関する意識調査ー国立更生援護施設入所者を中心にー | 加藤 博志 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター |
| 201 | 高齢者 | 軽スポーツ | 高齢障害者を対象とした軽スポーツ教室 | 秋山 なるみ | 東京都障害者総合スポーツセンター |
| 202 | 重度障がい | スポーツ・セラピー | 重症児（者）に対するスポーツ・セラピーの必要性 | 西野 伊三郎 | 長崎県みさかえの園むつみの家 |
| 203 | 肢体不自由 | ローリングバレーボール | 兵庫県下におけるローリングバレーボール競技の現状 | 川口 清隆 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 204 | 身体 | | 体育施設経営に関する研究（身体障害者体育施設について） | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| 205 | 身体 | 指導者養成 | 地方における身体障害者スポーツ指導者養成事業の現状と展望ー静岡県についてー | 堀内 とみ子 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| 206 | 身体 | 競技会報告 | 第36回国際ストークマンデビル競技会報告 | 大島 さとみ | 東京都障害者総合スポーツセンター |
| 207 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 第36回国際ストークマンデビル競技会報告 | 小川 優二 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 208 | 身体 | 車椅子運動会 | 第二回広州市身体障害者車椅子運動会報告 | 水原 由明 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |

第11集
1987年

| 第12集 1988年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-------|--------|------------------------|---|------------------|----------------------|
| | 209 | 身体 | | 全国身体障害者スポーツ大会への一つの試み | 芝田 徳造 | 京都障害者スポーツ振興会 |
| | 210 | 身体 | 設備 | 身体障害者を対象とするスポーツ設備・用具について | 田中 信行 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター |
| | 211 | 身体 | | 身体障害者体育・スポーツに関する研究の現状－当研究会過去11年間について－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 212 | 身体 | 車いすテニス | 車いすテニスの運動強度 | 最勝寺 久和 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 213 | 肢体 | アルペンスキー | 肢体不自由者のアルペンスキー大回転競技の運動強度 | 近藤 照彦 | 群馬県沢渡温泉病院 |
| | 214 | 脊髄損傷 | | 脊柱・脊髄に損傷を受けたことで受傷前と受傷後における身長の変化 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 215 | 脊髄損傷 | バスケットボール | 頸損（ツイン）バスケットボールにおけるクラス分類（Technical Check）について | 諏訪村 英男 | 国立伊東重度障害者センター |
| | 216 | 身体 | 車いすテニス | W/Cテニス コントロールテスト評価法 | 村上 信広 | 広島市中心身障害者障害福祉センター |
| | 217 | 脊髄損傷 | 体力評価 | 脊髄損傷者（車椅子者）の簡易全身持久力評価について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 218 | 発達障がい | 運動能力評価 | 脳障害者の運動能力の評価について | 中川 一彦 | 筑波大学 | |
| 219 | その他 | 体力評価 | 障害者の体力評価法－アンケート調査結果から－ | 石原 俊樹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター | |

| 第13集 1989年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|--------|------------------------|--|------------------|----------------------|
| | 220 | 片麻痺 | バレーボール | 「バウンズ・バレーボール」の紹介－実践までの経緯と指導法－ | 山野辺 和幸 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| | 221 | 身体 | エアロビックダンス | 車椅子エアロビックダンス（試案）の紹介と指導過程 | 布施 礼子 | Affection Power Gym. |
| | 222 | 身体 | エアロビックダンス | 車椅子エアロビックダンス（試案）の運動強度 | 塚越 和巳 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| | 223 | 視覚 | 陸上 投てき | 視覚障害者の投技能の指導法に関する一考察 | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 224 | 頸損 | ツイン車椅子 バスケットボール | 頸損者のバスケットボールの指導について | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 225 | 身体 | アーチェリー | 身体障害者アーチェリーの指導法－スタンスのバランスの悪さをカバーする「同一射型」の習得について－ | 谷 幸子 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 226 | 発達障がい | TEACCHプログラム | 自閉症児のスポーツ指導－理解と自立を進めるトレーニング－ | 石原 俊樹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 227 | 失調症 | トレーニング | 失調症患者の筋出力発揮特性とトレーニング効果に関する一考察 | 近藤 照彦 | 群馬県沢渡温泉病院 |
| | 228 | 脳血管障がい | | 脳血管障害者の身体活動に対する意識変化について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 229 | 身体 | 評価 | 腕クランキングにおける血中乳酸濃度から見た全身持久性の評価と車椅子スポーツ競技選手の特性 | 指宿 忠昭 | 群馬大学医療技術短期大学部 |
| | 230 | その他 | 集団スポーツ | 集団スポーツへの取り組み | 鬼澤 智子 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| | 231 | 高齢者 | レクリエーション | 当院入院患者者のレクリエーション対象者における機能的分類と整理 | 高井 由起子 | 鶴巻温泉病院 |
| | 232 | 身体 | 車いすテニス | 国内の車いすテニス大会参加者の現況 | 最勝寺 久和 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 233 | 身体 | 陸上競技 | 88ソウルパラリンピックにおける日本選手の記録に関する一考察－陸上競技について－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 234 | 身体 | 車椅子ラグビー | ISMGにおけるQuad Ball (Wheelchair Rugby)について | 諏訪村 英男 | 国立伊東重度障害者センター |
| 235 | 身体 | 競技会報告 | 第38回国際ストーク・マンデビル競技大会報告 | 水原 由明 | 東京都多摩障害者スポーツセンター | |

| 第14集 1980年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|--------|---|---|------------------|------------------------|
| | 236 | その他 | 水泳 | 〈パネルディスカッション〉 障害者の水泳指導 | 矢部 京之助 | 名古屋大学総合保健体育科学センター |
| | 237 | 発達障がい | 水泳 | 〈パネルディスカッション〉 発達障害児の水泳療法 | 覚張 秀樹 | 心身障害児総合医療療育センター |
| | 238 | 脳血管障がい | 水泳 | 〈パネルディスカッション〉 脳血管障害片麻痺者の水泳 | 大久保 春美 | 埼玉県障害者交流センター |
| | 239 | 脊髄損傷 | 水泳 | 〈パネルディスカッション〉 脊髄損傷者の水泳 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター体育科 |
| | 240 | 身体 | 車いすバスケットボール | 持ち点「12点制」の導入について－名神車椅子BB協議会の現状から－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 241 | 脳血管障がい | 評価 | 脳血管障害片麻痺患者におけるAT（無酸素作業閾値）決定の問題点 | 塚越 和巳 | 埼玉県障害者リハセンター |
| | 242 | 精神障がい | 水泳 | 精神遅滞児の水泳指導－フレキシブルスイミングヘルパー法による指導事例－ | 松尾 信一郎 | 鳴門教育大学大学院 |
| | 243 | 身体 | ポートボール | 障害老人の車椅子ポートボールについて | 小川 由起子 | 鶴巻温泉病院 |
| | 244 | 身体 | サッカー | 肢体不自由養護学校におけるボールゲームの実践の一例"府中サッカー" | 北久保 靖司 | 東京都立府中養護学校 |
| | 245 | 身体 | 車椅子テニス | 車椅子テニスのVTR指導マニュアル（試案） | 最勝寺 久和 | 神奈川リハセンター |
| | 246 | 片麻痺 | トレーニング | 片麻痺患者の動的下肢筋力トレーニング、DetrainingおよびRetrainingがPeak torque値に及ぼす影響 | 近藤 照彦 | 群馬県医師会沢渡温泉病院 |
| | 247 | 視覚障がい | トレーニング | 重心動揺の聴覚的フィールドバック訓練が盲児の直立姿勢保持能力に及ぼす影響 | 圓崎 優子 | 筑波大学大学院 |
| 248 | その他 | | 対人関係能力の高揚に効果的なプログラムに関する一考察－ピーターソン&ガンのプログラム発展論に基づいた試案－ | 芽野 宏明 | 武庫川女子大学 | |
| 249 | その他 | 競技大会 | 第39回国際ストークマンデビル競技会（ISMG）に参加して | 中森 邦男 | 東京都障害者総合スポーツセンター | |

| 第15集 1991年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|------|--------------------------|-------------------------------------|--------|---------------------|
| | 250 | 片麻痺 | 運動療法 | 〈特別講演〉片麻痺の運動療法－体育的、体力的な面から－ | 高木 秀峯 | 中伊豆リハビリテーションセンター |
| | 251 | 身体 | 身体障害者スポーツ | 新しい身体障害者スポーツ－全国調査から現状報告－ | 尾鷲 誠 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 252 | 身体 | | 重度障害者のスポーツ適応について－肢体不自由者を中心として－ | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 253 | 身体 | トレーニング | 身体障害者のトレーニング | 廣田 博子 | 東京都多摩更生園 |
| | 254 | 片麻痺 | トレーニング | 片麻痺患者の筋持久性トレーニング効果 | 近藤 照彦 | 群馬県医師会沢渡温泉病院 |
| | 255 | 片麻痺 | バドミントン | ATを指標とした脳卒中片麻痺患者のバドミントンラリーの運動強度 | 塚越 和巳 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| | 256 | 脊髄損傷 | | 水銀ラパーストレインゲージ法からみた上肢運動における前腕及び下腿血流量 | 指宿 忠昭 | 群馬大学医療技術短期大学部 |
| | 257 | 身体 | ツインバスケットボール | ツインバスケットボール中の心拍数変動 | 池田 恭敏 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 258 | その他 | レクリエーション | 東京都多摩障害者スポーツセンターにおけるレクリエーション教室の報告 | 小峰 久美 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| | 259 | 身体 | ベッタコベースボール | 「ベッタコベースボール」の紹介 | 小川 智樹 | 名古屋福祉健康センター |
| | 260 | 片麻痺 | 水泳 | 片麻痺者の水泳－水中ビデオで見る動きの特徴－ | 大久保 晴美 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| | 261 | 身体 | 車椅子テニス | 車椅子テニスの試合におけるRatingによるSkillの向上 | 大槻 洋也 | 名古屋福祉健康センター |
| | 262 | その他 | 健康 | 障害者の健康度把握について－簡易健康調査表の試行－ | 増田 和茂 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 263 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボールが文化として発展するために | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 264 | 身体 | スクーバ・ダイビング | 障害者に対するスクーバ・ダイビングの試み | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 265 | 身体 | 競技大会 | 1991年国際ストークマンデビル競技大会について | 川田 佳 | 埼玉県障害者交流センター |
| 266 | 肢体 | キャンプ | 肢体不自由児キャンプに対する価値意識に関する研究 | 錦 祐二 | 東京都立大学 | |

| 第16集 1992年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|--------|----------------------------------|---------------------------------|------------------|---------------------|
| | 267 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボールの運動強度に関する一考察 | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 268 | 脳血管障がい | | 心拍比を用いた脳血管障害片麻痺患者の活動水準算出の試み | 塚越 和巳 | 埼玉県障害者リハビリテーションセンター |
| | 269 | 身体 | | ハンドリム径による駆動ならびに操作効率の差異について | 三井 利仁 | 東京都障害者スポーツセンター |
| | 270 | 身体 | スポーツの分類 | 身体障害者スポーツの分類の試み | 谷 幸子 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 271 | 身体 | 軟式野球 | 身体障害者軟式野球の実態について | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 272 | 身体 | アーチェリー | わが国における身体障害者アーチェリーの動向 | 谷 幸子 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 273 | 身体 | クラブ活動 | 障害者自立のためのクラブ活動ー七沢スポーツクラブについてー | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 274 | 脳血管障がい | トレーニング | 福祉スポーツセンターにおける脳血管障害者のトレーニングについて | 小川 智樹 | 名古屋福祉健康センター |
| | 275 | 身体 | レクリエーション | 車椅子上でレクリエーションゲームの試み | 松本 あづさ | 鶴巻温泉病院 |
| | 276 | 身体 | バトミントン | 障害者のバトミントン指導ーVTRの紹介ー | 山野辺 和幸 | 埼玉県障害者交流センター |
| | 277 | 聴覚 | サッカー | 難聴児のサッカーチームを指導して | 髙岡 徹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 278 | その他 | シンクロナイズドスイミング | 障害者シンクロナイズドスイミング発表会について | 猪飼 さとし | 京都市障害者スポーツセンター |
| | 279 | 知的障がい | | 知的な障害を持つ子供たちのスポーツ教室 | 内藤 一美 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 280 | 身体 | 水泳 | 重度障害児の水泳指導をととしての成長記録 | 田口 紀行 | 大阪府立障害者交流促進センター |
| 281 | その他 | 大会報告 | 第5回冬季パラリンピック アルペールビル・ティニュー大会参加報告 | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセンター | |

| 第17集 1993年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|--------|-----------|--|--------|---------------------|
| | 282 | 脳性麻痺 | 水泳 | 「脳性まひ児の親子水泳教室」の紹介 | 中森 邦男 | 東京都障害者総合スポーツセンター |
| | 283 | 脳性麻痺 | 大会報告 | ロビン・フッド大会の報告 | 中森 邦男 | 東京都障害者総合スポーツセンター |
| | 284 | 身体 | 車椅子マラソン | 日本車いすマラソン大阪大会における参加選手のトレーニング状況 | 橋本 尚ら | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 285 | その他 | 水泳 | 京都におけるハロウィック水泳法の発展について | 西山 龍之 | 京都府障害者スポーツセンター |
| | 286 | 知的障がい | スポーツ | 自閉症児を対象としたスポーツ教室－TEACCHプログラムの試み－ | 森嶋 勉ら | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| | 287 | その他 | | 上級身体障害者スポーツ指導員と体育専攻学生の障害者に対する意識の違いについて | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 288 | 身体 | 車椅子マラソン | レース中の心拍変動－車いすマラソン－ | 増田 和茂ら | 兵庫県総合リハビリテーションセンター |
| | 289 | 脳血管障がい | | 脳血管片麻痺者の体育プログラム種目の生体負担度について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 290 | 脳血管障がい | リングベースボール | リングベースボールの紹介 | 赤見 光二 | 中伊豆温泉病院 |

| 第18集 1994年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|--------|-----------|----------------------------------|--|--|------------------------------|
| | 291 | 知的障がい | スポーツ | 知的障害者とスポーツ | 関口 一道 | 長野県精神薄弱者総合 援護施設「西駒郷」 |
| | 292 | 高齢者、重度障がい | リハビリテーション | 障害者の高齢化、重度化、多様化への対応—スポーツで障害者の治療・機能訓練を行う 立場から— | 金田 安正 | 国立身体障害者リハビ リテーションセンター |
| | 293 | 身体 | 社会体育 | 「障害者スポーツと高齢化・重度化・多様化の現状」 | 山口 幸彦 | 福岡市立障害者スポー ツセンター |
| | 294 | 身体 | 学校体育 | 学校体育とスポーツについて | 桜木 浩司 | 兵庫県立のじぎく養護学校 |
| | 295 | 身体 | 体力評価 | 車椅子脊髄損傷者年齢別体力評価数値について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテ ーションセンター |
| | 296 | 身体 | 軟式野球 | 「身体障害者軟式野球」の紹介 | 岩崎 廣司 | 日本身体障害者野球連盟 |
| | 297 | 身体 | シッテッドピクス | リサ・エリクソンによるシッテッドピクス | 久保 弘子 | D&Gフィットネス |
| | 298 | 脳血管障害者 | レクリエーショントレーニング | 脳血管障害者の軽スポーツを用いたトレーニングについて | 友松 佐知子他 | 名古屋総合リハビリテ ーションセンター |
| | 299 | 知的 | スポーツ教室 | いつでも どこでも 誰でも 誰とでも—知的障害者のスポーツ教室— | 曾根 千衣 | 兵庫県社会体育指導員 |
| | 300 | 聴覚 | バレーボール | バレーボールにおけるスパイクレシーブ時の聴覚障害者の目の使い方について | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 301 | 身体 | 車いす運動 | 心拍数を用いた車椅子運動の簡易運動強度決定法の妥当性—漸増負荷試験中の 生体反応から— | 樋口 幸治・山本 行文・ 東 利雄・田中 美穂・ 田中 宏暁・進藤 宗洋 | 熊本体力研究所、熊本機能病 院、福岡大学、堀川病院 |
| | 302 | 精神 | 体力テスト | 精神薄弱者施設における簡易体力テストの試み | 増田 和茂・安井 義博・ 谷 幸子・川口 清隆・ 谷川 久美子 | 兵庫県立総合リハビリテ ーションセンター |
| | 303 | 身体 | スポーツ | 私がスポーツを通して学んだこと | 井上 康 | 兵庫ランナーズクラブ |
| | 304 | 身体 | 障害者スポーツ | 私が見た世界の障害者スポーツ | 森尾 光隆 | 大阪身体障害者陸上競技連盟 |
| | 305 | 脳性麻痺 | 陸上 | CPの陸上競技の調査研究—主に100m走について— | 松井 直樹 | 兵庫県身体障害者陸上競技連盟 |
| | 306 | 身体 | コミュニケーションボード | スポーツ活動への動機づけに関する一考察—コミュニケーションボードの試案— | 茅野 宏明 | 武庫川女子大学 |
| | 307 | 身体 | やり投げ | 片大腿切断女子やり投げ選手のトレーニング | 浦 直哉 | 大阪市身体障害者スポーツセ ンター |
| | 308 | 身体 | 水中運動 | ひとりのできる水中運動療法 | 森嶋 勉 | 大阪市身体障害者スポーツセ ンター |
| | 309 | 健常 | 大会報告 | 第6回パラリンピック、リレハンメル大会参加報告 | 高橋 明 | 大阪市身体障害者スポーツセ ンター |
| 310 | 脳血管障がい | 水泳 | 兵庫県北部における障害者水泳の普及活動—現状と問題点— | 大木 幸子 | 身体障害者スポーツ指導員 岡本病院 OT | |
| 311 | 身体 | アーチェリー | 各国の身体障害者アーチェリーの実態について—平成5年度調査より— | 谷 幸子 | 兵庫県立総合リハビリテ ーションセンター—体育指導課 | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|---------|-----------------|--|--|---|
| 312 | 中高年障がい者 | 水泳 | 中高年障害者におけるゆっくりペース水泳の効用 | 永沼 明子 | (運動指導員と医務室合同研究) 福岡市障害者スポーツセンター |
| 313 | 身体 | 水泳 | 水泳時のエネルギー消費の指標として(水泳時のPCIの有用性) | 松阪 和子・幸福 美佐子・ 谷口 昌宏・藤田 大介・ 平田 繁(MD)・ 中田 仁・堀内 高之 | 大阪市更生療育センター・ 行岡病院・ 大阪市身体障害者スポーツセ ンター |
| 314 | 身体 | 水泳 | 東京都練馬区における「障害者専用水泳コース」に関する報告 | 中村 和子・覚張 秀樹 | 練馬区障害者専用コース指導 スタッフ・心身障害児総合医 療療育センター |
| 315 | 身体 | 水泳 | 水泳競技における統合型クラス分けシステムについて | 奥田 邦晴・増田 基嘉・ 大木 幸子 | 大阪府立看護大学医療技術 短期大学部・ 大阪府立身体障害者福祉セン ター |
| 316 | 脳血管障がい | スポーツ指導 | 脳血管障害者とスポーツ指導 | 安西 清美 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 317 | 聴覚障がい | バレーボール | 聴覚障害者のバレーボール指導 | 山口 幸彦 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 318 | 視覚障がい | 体力測定 | 視覚障害者の体力測定の結果について(リフレッシュ教室から) | 楠本 憲明 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 319 | 身体 | スポーツ・レク | 身障スポーツ・レクにおける考え方と実践(障害者福祉センター・デイサービス事業から) | 奥村 愛泉 | 長崎市障害福祉センター |
| 320 | 身体 | QOL充足度 | スポーツ愛好身体障害者のQOL充足度について | 中川 一彦・山藤 守代 | 筑波大学・奈良県立七条養護 学校 |
| 321 | 重度障がい | スポーツ・レクリエーション指導 | 重度障害者のスポーツ・レクリエーション指導(創作活動教室から) | 小手川 郁人 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 322 | 身体 | スポーツ・レクリエーション | 身体障害者のスポーツ・レクリエーション(ふれあいクラブ活動報告) | 二十二 緑 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 323 | 身体 | スポーツ | 小さなハイテクでスポーツを | 福島 勇 | 福岡市立今津養護学校 教諭 |
| 324 | 身体 | スキューバダイビング | 身障者のスキューバダイビング | 宮里 一男 | 沖縄県サン・アビリティーズ うらそえ |
| 325 | 身体 | ゴルフ | 身体障害者のゴルフ紹介 | 坂口 信一 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 326 | 身体 | 車椅子マラソン | 車椅子マラソン用ルームランナーの改良 | 山本 行文・東 利雄・ 松下 裕之・米松 弘之・ 樋口 幸治・大島居 弘次 | 熊本機能病院・熊本体力研究 所・第一技能サービス |
| 327 | 視覚 | ランナー | 視覚障害ランナーに関する調査(障害の程度・運動習慣・ライフスタイルについて) | 柿山 哲治 | 大妻女子大学人間生活学研究 所 |
| 328 | 身体 | 陸上 | 車いす陸上競技選手における栄養サポート面からのアプローチ | 内野 美恵・斎藤 まり・ 磯井 弘明 | (株)健康之友社 ミレス・ スポーツバックアップシステ ム |
| 329 | 視覚障がい | ランナー | 視覚障害者ランナーの現状と課題 | 湯川 静信・山西 哲朗・ 君原 健二・高石 ともや・ 増田 朋美 | 大阪国際女子短期大学・群馬 大学・北九州女子短期大学 |
| 330 | 精神障がい | 経営 | 障害者スポーツ経営の諸問題(精神薄弱者施設の運動プログラムとノーマリゼーションの関係) | 金山 千広・山下 秋二 | 京都教育大学大学院/オー ジースポーツ・京都教育大学 |
| 331 | 知的障がい | バスケットボール | 知的障害者のバスケットボールサークルの紹介 | 石井 辰美 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 332 | 精神障がい | 運動プログラム | 精神薄弱者通園施設における運動プログラムの取り組みについて(第一報) | 滝江 幸則・君島 美和・松藤 宗一郎・小川 淳 | 児童指導員・作業療法士 |
| 333 | 知的障がい | | 知的障害者の運動指導(ふよう学園スポーツ教室から) | 佐藤 勝成 | 福岡市立障害者スポーツセン ター |
| 334 | 身体 | トレーニング | 頸髄損傷者に対する簡易運動強度トレーニング(C6完全麻痺者の1例) | 樋口 幸治・山本 行文・ 東 利男・松下 裕之・ 米満 弘之 | 熊本機能病院付属熊本体力研 究所・熊本機能病院 |
| 335 | 身体 | | 車椅子脊髄損傷者のトレーニングにみる効果的な評価・訓練内容 脊髄損傷者(車椅子)の体育訓練プログラムについて | 橋谷 俊胤・大房 朋文 | 神奈川県総合リハビリテーショ ンセンター-体育科 |
| 336 | 精神障がい | 運動療法 | 当院に入院している精神疾患患者に対する運動療法 | 沖島 今日太・重松 孝子・ 池田 遼子・堀川 百合子・ 堀川 公平 | 野添病院 |
| 337 | その他 | 教室 | 神戸市民福祉センター1年の歩み(障害者スポーツ教室の取り組み) | 大上 由美子 | (株)オージースポーツ |
| 338 | 身体 | スキー | 脳卒中後片麻痺者スキーの10年 | 橋詰 謙・土田 昌一・ 伊東 元・小柳 ひとみ・ 古名 丈人 | 大阪大学・虎ノ門病院・茨城 県立医療大学・新潟中央病院・ 東京都老人総合研究所 |
| 339 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 地域における車椅子バスケットボールの動向 | 増田 和茂・安井 義弘・ 谷 幸子・堀尾 典之・ 川口 清隆 | 兵庫県総合リハビリテーショ ン センター |
| 340 | その他 | カヌー | 障害者カヌーについて(95日本パラカヌー競技大会報告) | 今吉 豊 | 社会福祉法人 太陽の家 |

第19集
1995年

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|---------------|--|--|--|
| 341 | 精神障がい | スポーツ、レクリエーション | 精神障害者に対するスポーツ、レクリエーション指導－保健所でのグループワークから－ | 内藤 一美・背野 初枝 | 大阪市身体障害者スポーツセンター・大阪市中央保健所 |
| 342 | 障がい児、者 | 調査 | 障害児、者の地域スポーツ活動 | 中村 和子・覚張 秀樹 | 心身障害児総合医療療育センター |
| 343 | 身体 | 車椅子ダンス | 車椅子ダンスの創作活動－1年半の試み－ | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |
| 344 | 知的障がい | 調査 | 知的障害者の体格、体力および食生活について－神戸福祉スポーツセンター利用者に関する報告－ | 大上 由美子・金山 千広・井上 外司成・林 敏広 | (株)オーゼスポーツ 神戸福祉スポーツセンター－同 |
| 345 | 知的障がい | 調査 | 知的障害者スポーツの普及要因の検討 | 金山 千広・山下 秋二 | オーゼスポーツしあわせの村事業所・京都教育大学 |
| 346 | 知的障がい | 卓球 | 知的障害者の卓球指導 | 高岡 徹・森嶋 勉・小西 誠・東田 尚子 | 大阪市身体障害者スポーツセンター |
| 347 | その他 | パラリンピック | パラリンピック競技大会の夜明けへの課題 | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| 348 | 知的・身体 | 水泳 | 障害児水泳教室の紹介 | 渡邊 勝平・吉原 真奈美 | しもむらクリニック・長崎市障害福祉センター |
| 349 | 障がい児 | 身体表現 | 障害児、者を対象とした身体表現活動の現状と課題Ⅰ | 若山 浩彦・金田 安正・松原 豊・高田谷 久美子・岩岡 研典・西 洋子 | 全国身体障害者総合福祉センター・国立身体障害者リハビリテーションセンター・筑波大学付属桐が岡養護学校・山梨医科大学・東京女子大学・東洋英和女学院大学 |
| 350 | 障がい児 | 身体表現 | 障害児、者を対象とした身体表現活動の現状と課題Ⅱ | 高田谷 久美子・金田 安正・松原 豊・若山 浩彦・岩岡 研典・西 洋子 | 山梨医科大学・国立身体障害者リハビリテーションセンター・筑波大学付属桐が岡養護学校・全国身体障害者総合福祉センター・東京女子大学・東洋英和女学院大学 |
| 351 | 脊髄損傷 | 体育プログラム | 車椅子脊髄損傷者体育プログラム内容の紹介 | 橋谷 俊胤・大房 朋文 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター体育科 |
| 352 | 重度障がい児 | コミュニケーション | 障害児の非言語的コミュニケーション法の身体活動への適用 | 錦 裕二 | 東京都立大学 理学部 |
| 353 | 身体 | 車椅子マラソン | 食事意識に関する日本選手と外国選手のちがい－車椅子マラソン選手を対象に－ | 内野 美恵 | 株式会社 健康之友社 ミレス・スポーツバックアップシステム |
| 354 | 視覚障がい | ランナー | 視覚障害ランナーに関する調査(第2報) | 柿山 哲治 | 大妻女子大学人間生活科学研究所 |
| 355 | 知的障がい | 肥満判定 | 知的障害者におけるウエスト形状から見た肥満判定法の検討－腹部前後横径比と体脂肪率の関係－ | 小野 晃 | YMCA健康福祉専門学校 |
| 356 | 脳性麻痺 | 水中運動 | 水中運動を中心とした重度脳性まひ者のスポーツ活動 | 森嶋 勉・高岡 徹・小西 治子・寺尾 理恵・赤坂 久雄・中谷 悟・覚張 秀樹 | 大阪市身体障害者スポーツセンター・大阪体育大学付属福祉専門学校・大阪府立港南高等学校・社会福祉法人特別養護老人ホームいくとく・心身障害児総合医療療育センター |

第20集
1996年

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|---------------|--|--------|---------------------|
| 357 | 身体 | スポーツ大会 | 神奈川県における身体障害者スポーツ大会の現状 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 358 | 障がい児 | 感覚統合トレーニング | 障害児の感覚統合トレーニング | 今村 一伸 | YMCA健康福祉専門学校 |
| 359 | その他 | 施設調査 | 使いやすい施設を作るためにー交流センターの将来ー | 日下部 由美 | (株)オージースポーツ |
| 360 | 重度障がい | スポーツ・レクリエーション | 重度身体障害者のなかまづくりに関するー考察ースポーツ・レクリエーションの果たせる役割ー | 小西 治子 | 大阪体育大学附属福祉専門学校 |
| 361 | 在宅障がい者 | スポーツ・レクリエーション | 障害者交流センター”出前”スポーツ・レクリエーション大会への取り組み | 巖田 正明 | 埼玉県社会福祉事業団障害者交流センター |
| 362 | 知的障がい | アクア・エクササイズ | 知的障害者におけるアクア・エクササイズの開発 | 加藤 由紀 | YMCA福祉スポーツ研究所 |
| 363 | 脳性麻痺 | 車椅子テニス | 脳性まひ者における車椅子テニスの指導について | 大槻 洋也 | 名古屋市総合リハビリテーションセンター |
| 364 | 身体 | 自転車 | 身体に障害を持つ自転車競技選手の自転車の改良 | 荒賀 博志 | 名古屋市総合リハビリテーションセンター |
| 365 | 身体 | 車椅子ランナー | パフォーマンス向上のための回旋運動の必要性について 椅子ランナーにスポットをあててー | 森嶋 勉 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| 366 | その他 | メディア情報 | メディアにおける障害者のスポーツ ー1992年から1996年における「パラリンピック」記事の量的および質的变化の検討ー | 草山 太郎 | 大阪体育大学附属福祉専門学校 |
| 367 | 身体 | 電動車椅子サッカー | 電動車椅子サッカーを楽しむ重度障害者のQOL充足度について | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| 368 | 身体 | 指導者資格 | 学校における公認身体障害者スポーツ指導者資格取得者の追跡調査 | 藤原 進一郎 | 武庫川女子大学 |

第21集
1997年

| 第22集 1998年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|--------|------------------------------------|--|-------------------|---------------------|
| | 369 | 身体 | 卓球 | 肢体不自由者の卓球種目について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 370 | その他 | シンクロナイズドスイミング | 障害者のシンクロナイズドスイミングによる水中訓練効果について | 松阪 和子 | 大阪市更生療育センター |
| | 371 | 精神薄弱 | 競争のあり方 | 精神薄弱者のためのスポーツにおける競争のあり方について | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 372 | その他 | シュノーケリング | シュノーケリング教室についての報告 | 東田 尚子 | 大阪市舞洲障害者スポーツセンター |
| | 373 | その他 | カヌー | カヌー教室についての報告 | 大儀 昌郁 | 大阪市舞洲障害者スポーツセンター |
| | 374 | 脳血管障がい | ゴルフ | 脳血管障害者のレクリエーション活動についての報告ーゴルフ編ー | 髙岡 徹 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 375 | 二分脊椎 | スキー | スポーツが障害児に与える精神的影響について-二分脊椎児スキーツアーを通して | 小西 治子 | 大阪体育大学附属福祉専門学校 |
| | 376 | その他 | スポーツクラブ | スポーツ指導からスポーツクラブへー社会福祉法人 太陽の家におけるスポーツ活動の現状ー | 今吉 豊 | 太陽の家 |
| | 377 | 脳性麻痺児 | 体育活動 | 中米パナマにおける脳性麻痺児の体育活動 | 服部 直充 | 太陽の家 |
| | 378 | 頸髄損傷 | 車いすツインバスケットボール | 車いすツインバスケットボール選手と喫煙ー喫煙状況と意識についてー | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 379 | 知的障がい | 泳動作 | 知的障害児と健常児の泳動作の加齢の変遷について | 湯川 静信 | 大阪国際女子大学 |
| 380 | その他 | 卓球 | 精神集中を利用した自然上達法ーバウンス・ヒット法の卓球指導への応用ー | 森嶋 勉 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター | |

| 第23集 1999年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|------|-----------|---------------------------------------|------------|---------------------|
| | 381 | その他 | レクリエーション | 障害者スポーツとセラピューティックレクリエーションの関係について | 野村 一路 | 日本体育大学レクリエーション学研究室 |
| | 388 | 脊髄損傷 | 大会出場 | 第34回全国身体障害者スポーツ大会・神奈川県選手団脊髄損傷者の出場について | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| | 389 | その他 | エアロビクス | 楽しみながらおこなうボール運動とエアロビクス | 荒賀 博志 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 390 | その他 | クラブ・サークル | 障害者スポーツクラブ・サークルの活動状況に関する研究 | 阿閉 功 | 日本体育大学レクリエーション学研究室 |
| | 391 | 身体 | 日本武道 | 外国人身障者と日本武道 | ボンタス・ヨハンソン | 身体障害者武道協会 |
| | 392 | 身体 | 体育の個別指導計画 | 肢体不自由養護学校における体育の個別指導計画について | 松原 豊 | 筑波大学附属桐が丘養護学校 |
| | 393 | 身体 | 陸上競技 | 陸上競技と義足 | 月城 慶一 | オットーボック・ジャパン株式会社 |

| 第24集 2000年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|-------|---------------|--|-------|----------------------|
| | 394 | その他 | スポーツ活動 | 東北地方における障害者スポーツの現状と課題ー宮城・仙台の実践を通してー | 阿部 一彦 | 東北福祉大学・仙台市障害者スポーツ協会 |
| | 395 | 重度・重複 | エアロビクス・ルーティーン | 重度・重複障害児を対象としたエアロビクス・ルーティーンーM.O.V.E. プログラムを基本とした運動技能学習の試みー | 松原 豊 | 筑波大学附属桐が丘養護学校 |
| | 396 | 身体 | 体力・運動能力 | 身体障害のあるスポーツ選手における体力・運動能力ー長野パラリンピック推薦選手における結果よりー | 田中 信行 | 国立身体障害者リハビリテーションセンター |
| | 397 | その他 | 取り組み | 中国における障害者スポーツの新しい取り組み | 中川 一彦 | 筑波大学 |
| | 398 | 身体 | 施設 | 地域障害者スポーツ施設のマネジメントを考えるー兵庫県勤労身体障害者体育館の場合ー | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 399 | その他 | 利用統計 | 利用統計から見た大阪市長居障害者スポーツセンターの変遷 | 森嶋 勉 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 400 | その他 | 福祉スポーツ | 名古屋短期大学現代教養学科における「福祉スポーツ」開講の経緯と授業内容 | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|---------------|--|--------|--------------------------|
| 401 | その他 | | 「リハビリテーションから見たスポーツの効用」 | | |
| 402 | その他 | | 医学的立場から | 小池 達也 | 大阪市立大学医学部整形外科 |
| 403 | その他 | | 理学療法士の立場から | 奥田 邦晴 | 大阪府立看護大学医療技術短期大学部 |
| 404 | その他 | | スポーツ指導員の立場から | 河合 俊次 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| 405 | その他 | | 保護者の立場から | 西川 廣美 | 重度障害者レクリエーションサークル |
| 406 | 身体 | アームレスリング | 車いすアームレスリングを考えるー現状と課題ー | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| 407 | その他 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボール選手の体幹回旋運動の運動学的解析 | 瀬戸 弘子 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| 408 | 視覚障がい | トレッドミル歩行 | 視覚障害者のトレッドミル歩行について | 荒賀 博志 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| 409 | 重度障がい | スポーツ・レクリエーション | 障害者スポーツ・レクリエーションプログラム提供に関する実践研究ースポーツ・レクリエーションプログラムが利用者に及ぼす研究について | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |
| 410 | その他 | スポーツ・レクリエーション | 障害者スポーツ・レクリエーションプログラム提供に関する実践研究ー特にスポーツ・レクリエーションプログラムの定着過程に注目してー | 藤田 紀昭 | 日本福祉大学 |
| 411 | その他 | レクリエーション | 障害者のレクリエーション活動普及のための実証的調査研究 | 松原 豊 | 筑波大学附属桐が丘養護学校 |
| 412 | その他 | 文献考察 | 集団状況の発達段階からみた日本障害者スポーツ協会の課題 | 井田 智之 | 東京多摩障害者スポーツセンター |
| 413 | 脳性麻痺 | 三輪自転車 | 重度脳性麻痺者の屋外三輪自転車リハビリテーション | 伊神 和史 | 東白川村国民健康保険病院 |
| 414 | 視覚障がい | アーチェリー | 視覚障害者アーチェリーにおける照準システムの開発について | 渡辺 一志 | 大阪市立大学 |
| 415 | 脳血管障がい | ゴルフ | 障害を受けてからの私のゴルフ人生 | 養田 豊彰 | 大阪市長居障がい者スポーツセンターゴルフサークル |
| 416 | その他 | 水泳 | わかすぎ園における水泳指導の取り組みについて | 大城 美華 | 守口市わかすぎ園 |
| 417 | その他 | 調査 | 体育系大学における障害者スポーツの取り組みについてー「障害者とスポーツ」湯構成アンケート調査を踏まえてー | 高橋 まゆみ | 仙台大学 |
| 418 | その他 | 指導員養成 | 障害者スポーツ指導員養成プログラムの検討ー障害者スポーツ概論の展開とともにー | 矢吹 知之 | 東北福祉大学 |
| 419 | その他 | 調査・研究 | 障害者スポーツ指導者の資格と指導現状に関する調査・研究 | 塩野 和美 | 国際武道大学大学院 |
| 420 | その他 | 水中運動 | 農村地区における障害者スポーツの支援システムに関する実践報告ー淡路島 国保 鮎原診療所における水中運動についてー | 金山 千広 | 聖和短期大学 |
| 421 | 身体 | | 運動習慣をもつ身体障害者の自尊感情の構造 | 内田 若希 | 九州大学大学院人間環境学科 |
| 422 | 身体 | フライングディスク | 身体障害者フライングディスクについて | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |

第25集
2001年

| 第26集 2002年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|------------|-------|---------------------------|--|---------------------|---------------------|
| | 423 | その他 | アンケート調査 | 障害者の市民スポーツ施設の利用について | 滝沢 幸孝 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 424 | その他 | 調査 | わが国の障害者スポーツ施設概況 | 滝沢 詔子 | 大阪市障害更生文化協会 |
| | 425 | 精神障がい | 教室 | 大阪市長居障害者スポーツセンターにおけるスポーツ教室の現状－精神障害者の受講状況にスポットをあてて－ | 辻奥 沙織 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 426 | 重複 | 歩行 | 重度重複障害児を対象とした5分間の走の事例研究 | 松原 豊 | 筑波大学附属桐が丘養護学校 |
| | 427 | その他 | 陸上競技 | 障害者陸上競技世界選手権大会の報告 | 楠本 憲明 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 428 | 視覚障がい | 卓球 | 盲人卓球競技の競技規則の検討 | 小林 智志 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 429 | その他 | 体験学習 | 障害者に対する理解を深めるために－中学校における体験学習を通して－ | 三木 和雄 | 大阪市立南中学校 |
| | 430 | その他 | ヨット | 障害者のヨット体験教室の報告 | 工藤 孝富 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| | 431 | その他 | 指導者の活動 | 公認障害者スポーツ指導者の活動に関する一考察 | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 432 | その他 | 指導者資格取得認定校 | (財)日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導者資格取得認定校の実際 | 田中 美紀 | 武庫川女子大学 |
| | 433 | 脊髄損傷 | 動作の分析 | 頸髄損傷者におけるスポーツの効用－ブッシュアップ動作の分析を中心として－ | 灰方 淑恵 | 大阪府立看護大学医療技術短期大学部 |
| | 434 | その他 | 水泳 | 障害者水泳選手の平泳ぎに関する運動学的解析 | 奥田 邦晴 | 大阪府立看護大学医療技術短期大学部 |
| 435 | 脳原生麻痺・脊髄損傷 | | 脳原生まひ者および脊髄損傷者の縦運動と横運動の関係 | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|--------------------|---|--------|-----------------------|
| 436 | その他 | スポーツコンディショニング | スポーツコンディショニングシステムについて | 三井 利仁 | 関東身体障害者陸上競技会 |
| 437 | その他 | 競技力向上 | 障害者の競技力向上のために | 中川 一彦 | 武庫川女子大学 |
| 438 | その他 | 車椅子テニス | 指導法の統合ー車椅子テニスコーチング研究会報告ー | 大槻 洋也 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| 439 | その他 | | ジュニアスポーツのこころみ | 廣木 美奈 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 440 | 視覚障がい | 健康体操 | 様々な障害をもつ人達が参加できる健康体操の指導ー視覚障害者へのかかわり方を中心にー | 丸山 治美 | |
| 441 | その他 | | ケアポートみまきを核としたスポーツ支援取り組みについて | 半田 秀一 | 北牧村温泉診療所リハビリテーションセンター |
| 442 | 脳血管障がい | スポーツ・レクリエーションクラブ作り | 脳血管障害者後遺症のスポーツ・レクリエーションクラブ作りーイキイキクラブを事例としてー | 加藤 郁代 | ときわぎ診療所 |
| 443 | その他 | 指導者の活動 | 障害者スポーツ指導者の活動の活性化について | 藤田 紀昭 | 日本福祉大学 |
| 444 | その他 | 指導員資格取得後 | 認定校における障害者スポーツ指導員資格取得後の実態について | 田中 美紀 | 武庫川女子大学 |
| 445 | その他 | 車椅子ダンス | 車椅子ダンス普及活動の実際ー名古屋支部の5年間の経緯と今後の課題ー | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |
| 446 | その他 | 車椅子バスケットボール | 国際親善車椅子バスケットボール大阪大会の企画・運営 | 高橋 明 | 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 |
| 447 | 知的障がい | ランニング | 知的障害者における生涯スポーツへの取り組みーKさんとのランニングを通してー | 清田 和代 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| 448 | 脳血管障がい | アーチェリー | 脳血管障害者のアーチェリーへの取り組みについて | 大河原 裕貴 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| 449 | 重度障がい | アーチェリー | 重度障害者に対するアーチェリー種目への取り組みについて | 島崎 由紀子 | 長野県障害者福祉センター |
| 450 | 知的障がい | | 知的障害者スポーツとPWLについて | 橋谷 俊胤 | 神奈川県総合リハビリテーションセンター |
| 451 | 自閉症 | 水泳 | 自閉症児水泳支援の一考察 | 太田 澄人 | 長野県障害者福祉センター |
| 452 | 知的障がい | 水泳 | 大阪市舞洲障害者スポーツセンターにおける親子水泳教室（知的障害児）教室事例について | 秋丸 知子 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| 453 | その他 | リハスポ教室 | リハスポ教室の活動報告について | 佐藤 光秀 | 長野県障害者福祉センター |
| 454 | 知的障がい | 移動教室 | 長野県障害者福祉スポーツセンター移動教室の試みー県内知的障害者施設を中心にー | 北沢 好宏 | 長野県障害者福祉センター |

第27集
2003年

| 第28集 2004年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|-------------|------------------------------------|---|-------------|-----------------------|
| | 455 | ミトコンドリア自閉症 | ムーブメント教室 | サンアップルにおけるムーブメント教室の取り組みについて | 中村 喜代美 | 長野県障害者福祉センター |
| | 456 | 知的障がい | 水泳 | 自閉傾向児に対する集団指導の導入方法－知的障害児水泳教室の事例について | 茂木 誠 | 長野県障害者福祉センター |
| | 457 | 知的障がい | 剣道 | 舞洲剣道クラブの活動記録について | 小西 誠 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| | 458 | 身体 | 水泳 | 身体障害者の水泳実施におけるストレス軽減効果の一考察 | 中山 正教 | 佐賀大学大学院 |
| | 459 | 知的障がい | スペシャルオリンピックス | スペシャルオリンピックス・アスリートのファミリーにおける運動習慣の検討 | 荒井 弘和 | 大阪工業大学 |
| | 460 | その他 | アーチェリー | 大阪市長居障害者スポーツセンターにおけるアーチェリー練習会の取り組みについて－視覚障害者、知的障害者に対する事例報告－ | 山根 雅子 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 461 | 重度 | スポーツが果たす機能と役割 | 重度の肢体障害者にかかるスポーツが果たす機能と役割について | 奥田 邦晴 | 大阪府立看護大学総合リハビリテーション学部 |
| | 462 | 高齢障害者 | 体育運動 | 高齢障害者の体育運動の必要性 | 橋谷 俊胤 | PWL知的障害スポーツ研究室 |
| | 463 | 施設 | サービス評価 | バリアフリー型スポーツ施設におけるサービス評価の特徴 | 金山 千広 | 聖和大学短期大学部 |
| | 464 | その他 | パラリンピックを観戦 | 2004 アテネパラリンピックを観戦して | 高橋 明 | 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 |
| | 465 | その他 | トレーナー | アテネパラリンピック大会における本部トレーナー室活動報告 | 門田 正久 | (株)メディウィング |
| | 466 | その他 | バドミントン | 障害者バドミントンにおけるクラス分けについて | 荒谷 幸次 | 豊橋整形外科 |
| | 467 | その他 | バリアフリー等に関する実態調査 | スポーツ施設のバリアフリー等に関する実態調査の中間報告 | 井田 智之 | 東京都障害者スポーツ協会 |
| 468 | その他 | 指導員資格取得後の実態 | 認定校における障害者スポーツ指導員資格取得後の実態について 第2報 | 保井 俊英 | 武庫川女子大学 | |
| 469 | 関節症 | 運動やスポーツの普及 | 変形性関節症者に必要な運動やスポーツの普及－のぞみ会の活動について－ | 安西 清美 | 福岡市立もち福祉プラザ | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|------------------|---|-------|-----------------------|
| 470 | その他 | 公共施設の実態調査 | 東京都の公共施設の実態調査 | 井田 智之 | 東京都障害者スポーツ協会 |
| 471 | その他 | 養成課程 | 地域障害者スポーツ支援リーダー 養成課程から実施について | 関口 一道 | 長野県障害者福祉センター |
| 472 | その他 | 余暇 | 障害者における余暇に関する自発性及び退屈感についてー特にスポーツセンター利用者を中心にー | 橋本 和秀 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| 473 | 脳血管障がい | トレーニング教室 | 脳血管障害のトレーニング教室事例報告ー大阪市長居障害者スポーツセンターでの取り組みー | 河合 俊次 | 大阪市更生療育センター |
| 474 | 高齢者 | エクササイズ教室 | 障害者エクササイズ教室におけるプログラムについて | 矢内 里奈 | 尼崎市立身体障害者福祉センター |
| 475 | 視覚障がい | STT | 狙ったところに打てるようになるためのサウンドテーブルテニス (STT) の指導方法 | 畠山 直美 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| 476 | 障がい児 | 水泳 | スイミーの会活動報告 | 堀内 和美 | スイミーの会 |
| 477 | その他 | アンケート調査 | 指導者に求められるものー保護者・ヘルパーの立場からー | 内田 邦治 | 居宅介護ステーション |
| 478 | その他 | スキー | 障害者スキー教室の企画についてー大阪市障害者スキー教室の実践よりー | 河合 俊次 | 大阪市更生療育センター |
| 479 | 身体 | ストレンクス&コンディショニング | 身体障害者のストレンクス&コンディショニングについて | 荒賀 博志 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| 480 | 発達障がい | 短期間指導 | 高機能広汎性発達障害者に短期間指導を通して得たもの | 橋谷 俊胤 | PWL知的障害スポーツ研究室 |
| 481 | その他 | 大脳生理学 | 大脳生理学から見たスポーツ活用について | 森嶋 勉 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| 482 | 健常者 | 水中運動 | 下肢水中運動の反復速度が筋活動量に与える影響について | 増田 基嘉 | 大阪府立看護大学総合リハビリテーション学部 |
| 483 | その他 | 活動実績証明 | 認定校における中級スポーツ指導員申請手続きについてー障害者スポーツ指導者手帳による活動実績証明書の状況 | 保井 俊英 | 武庫川女子大学 |
| 484 | その他 | バドミントン | 2005年IBAD世界障害者バドミントン選手権大会におけるトレーナー活動報告 | 荒谷 幸次 | 豊橋整形外科 |
| 485 | 高齢者 | 利用実態 | 交流センターにおける高齢者の利用実態ー自覚的A D Lと動機づけからみた高齢障害者の特徴ー | 杉本 和則 | (株) オージースポーツ |
| 486 | その他 | 水泳 | シンクロナイズドスイミングの取り組みについて | 中村 由香 | さくらシンクロクラブ |
| 487 | 知的障がい | 水泳 | 知的ハンディを持つ子どもたちの持つ可能性について | 横山 勝 | ひまわり |
| 488 | 重度 | ポッチャ | 障害者スポーツ「ポッチャ」が施設利用者へ及ぼす影響 | 南野 文子 | 身体障害者療護施設 |

第29集
2005年

| 第30集 2006年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|---------|----------------------|---|---------------------|-------------------------------|
| | 489 | 障害児・者 | ダンス | 障害児・者のダンスに関わった学生の意識変化に関する研究－障害児・者に対する意識変化に注目して－ | 藤田 紀昭 | 日本福祉大学 |
| | 490 | 障害児・者 | ダンス | 障害児・者のダンスに関わった学生の意識変化に関する研究－障害児・者とのダンス活動に対する意識変化に注目して－ | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |
| | 491 | スポーツ指導員 | 申請手続き | 認定校における中級スポーツ指導員申請手続きについて－障害者スポーツ指導者手帳による活動実績証明書の状況－スポーツ指導者手帳による活動実績証明書交付状況2－ | 保井 俊英 | 武庫川女子大学 |
| | 492 | 視覚障がい | ランナー | 視覚障害者ランナーの伴走方法「伴走者の位置が視覚障害者ランナーの走フォームに与える影響」 | 湯川 静信 | 大阪国際女子大学 |
| | 493 | 左肩関節離臼者 | カヌー | 左肩関節離臼者のカヌーへの挑戦 | 大河原 裕貴 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 494 | その他 | 体育・スポーツ | 障害者の体育・スポーツに関する研究の推移 本研究の29年間について | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 495 | その他 | 体育・スポーツ | 日本障害者体育・スポーツ研究会30回記念企画「日本障害者体育・スポーツ研究会の歩みとこれからに向かって」 | 藤原 進一郎 橋谷 俊胤 | PWL知的障害スポーツ研究室 |
| | 496 | その他 | スポーツ施設 | 障害者スポーツ施設のマネジメント | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 497 | その他 | スポーツ施設 | 郊外型障害者スポーツ施設の運営と課題 | 川口 清隆 | 兵庫県玉津福祉センター |
| | 498 | その他 | 交流センター運営 | 交流センター運営について－指定管理者の立場から－ | 山崎 加保里 | 神戸市立市民福祉スポーツセンター |
| | 499 | その他 | スポーツ効果 | 実感的な尺度からみたセンター利用者のスポーツ効果の有意感について | 井田 智之 | 東京都障害者スポーツ協会 |
| | 500 | その他 | トレーニングルーム | 交流センター内トレーニングルームおにける利用事態について | 杉本 和則 | (株)オージースポーツ |
| | 501 | 身体 | 卓球 | 卓球教室の組み立て方による利用者の変化について－身体障害者の卓球教室の事例から考える－ | 大橋 聡子 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 502 | その他 | 障害者スポーツの動向 | イングランドにおける障害者スポーツの動向－政策的視点からの考察－ | 田中 暢子 | 英国ラフバラ大学 大学院スポーツ・レジャー政策研究室 |
| | 503 | その他 | バドミントン | 障害者バドミントンのこれから－2006FESPIC1大会に向けて－ | 高田 友 | (株)オージースポーツ |
| | 504 | その他 | ローンボウルズ | 障害者ローンボウルズの現状 | 澤田 昭雄 | 日本障害者ローンボウルズ連盟 |
| 505 | 視覚 | サッカー | 視覚障害者サッカー－国内での動向と現状－ | 田中 重雄 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|----------|---|-----------------|---------------------------------------|
| 505 | 脊髄損傷 | 車椅子操作 | 脊髄損傷者が車いす操作を習得する過程について | 大房 朋文 | 神奈川県総合 リハビリテーション センター |
| 506 | 知的 | 軟式野球 | 知的障害者軟式野球チーム「舞洲ドリームス」の活動について | 奥田 龍男 | 舞洲障害者スポーツセンター |
| 507 | その他 | カローリング | 名古屋発症のニュースポーツ「カローリング」の取り組み ～健常者と三障害者が共に楽しめる～ | 荒賀 博志 | 名古屋市障害者 スポーツセンター |
| 508 | 高齢者 | 卓球 | 障害高齢者（要支援）体育プログラム・卓球について | 橋谷 俊胤 | ビィガ山王リハビリ |
| 509 | 重度障がい | レクリエーション | 重度障害者の運動・レクリエーション活動の実践報告（その2） ー障害者施設での活動を事例にー | 藤田 紀昭 | 日本福祉大学 |
| 510 | 重度障がい | ダンス | 電動車いす使用者のダンス | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |
| 511 | 知的障がい | スポーツ教室 | 障害者スポーツセンターにおける知的障害者スポーツ教室の報告 | 永井 由美子 | 舞洲障害者スポーツセンター |
| 512 | その他 | ツリーイング | 障害者とツリーイング（ツリークライミング） | 増田 和茂 | 兵庫県立総合 リハビリテーションセンター |
| 513 | その他 | 地域スポーツ | 障害者への「地域スポーツ支援」 ～長野県障害者福祉センターにおける「地域スポーツ支援」の取り組みから～ | 太田 澄人 | 障害者スポーツ 支援センター松本 |
| 514 | その他 | バドミントン | 2006 FESPICクアラルンプール大会 バドミントンチーム トレーナー活動報告 | 荒谷 幸次 | 豊橋整形外科 向山クリニック |
| 515 | その他 | サッカー | 視覚障がい者サッカー選手のスポーツ障害実態調査 | 井口 建司 | 国立伊東重度障害者センター |
| 516 | 脳血管障がい | トレーニング | 脳血管障害者のトレーニング教室の取り組み（第2報） ー地域生活者の社会的QOLの向上を目指してー | 野々村 和子 | 大阪市長居障がい者ス ポーツセンター |
| 517 | その他 | | バリアフリー型スポーツ施設のサービス評価 ー利用者層が異なる2施設の比較ー | 金山 千広 | 聖和大学短期大学部 |
| 518 | 脳血管障がい | 歩行動作 | 脳血管障害者における歩行動作トレーニングプログラムの効果 ーチューブトレーニングを用いた歩行動作の行動変容についてー | 橋本 和秀 | 東京都多摩障害者 スポーツセンター |
| 519 | 重度障がい | フットサル | 障害者サッカーのユニバーサル化 ー兵庫バリアフリーフットサル大会の取り組みからー | 田中 重雄 | 兵庫県立総合 リハビリテーションセ ンター |
| 520 | その他 | ボランティア | 施設ボランティアについて 福祉交流センター内での活動内容とその役割 | 木村 羊子 | 神戸市民福祉 スポーツセンター |
| 521 | その他 | エアロビック | 競技団体と保健・医療・福祉・教育機関との連携 ～エアロビックの発展とともに～ | 関口 美恵子 | 社団法人日本エアロビック連盟 アダプテッドエアロビック委員 会 |
| 522 | その他 | エアロビック | アダプテッドエアロビック事業における理学療法士の役割と可能性 | 東 健太郎 | 山本記念病院 リハビリテーション科 |
| 523 | その他 | 医事相談 | 医事相談の相談内容について ー神戸市民福祉スポーツセンターの場合ー | 山崎 加保里 菅野 睦美 | 神戸福祉スポーツ センター |

第31集
2007年

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|-----------------|--|----------------|---------------------------------------|
| 524 | 知的障がい | ムーブメントセラピー | 知的障がい児を対象とした教室の取り組みについて ームーブメントセラピーをアレンジした成果ー | 荒賀 博志 大橋 聡子 | 名古屋市障害者 スポーツセンター |
| 525 | 知的障がい | タグラグビー | 夏休み障害児スポーツ教室 ～知的障害児のタグラグビー指導～ | 吉田 裕実 | 舞洲障害者スポーツセンター |
| 526 | その他 | ミュージック・ケア | 障害者スポーツセンターにおける「ミュージック・ケア」教室の取り組み | 五百倉 有紀 | 大阪市長居障がい者ス ポーツセンター |
| 527 | 視覚障がい | スポーツ連盟 | 兵庫県における視覚障害者スポーツ振興について ー兵庫県視覚障害者スポーツ連盟の取り組みー | 田中 重雄 | 兵庫県立総合 リハビリテーションセン ター |
| 528 | その他 | ボランティア | センターボランティアの活動について | 古谷 和之 | 大阪市長居障がい者ス ポーツセンター |
| 529 | その他 | 施設の取組 | 障害者の健康対策 ー障害者優先スポーツ施設の取組ー | 増田 和茂 | 兵庫県立総合 リハビリテーションセン ター |
| 530 | 脊髄損傷 | テニス | 車いすテニスプレーヤーへのレジスタンストレーニングの導入 ～脊髄損傷者の効果的なポジショニングの確立～ | 神門 剛 | 名古屋市障害者 スポーツセンター |
| 531 | 知的障がい | 軟式野球 | 知的障害者軟式野球チーム「舞洲ドリームス」のその後 | 奥田 龍男 福島 尊史 | 大阪市舞洲障害者ス ポーツセンター |
| 532 | その他 | 職員派遣事業 | 県内各地域への職員派遣事業について ー広島県立障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センターの 取り組みからー | 栗原 信 | 広島県立障害者 リハビリテーションセン ター |
| 533 | その他 | 地域出張 | 「長野における地域出張支援と実際（三スポーツまつもとの2年から）」 | 太田 澄人 | 障害者スポーツ 支援センター松本 |
| 534 | 肢体 | 車椅子バスケットボール | 車椅子バスケットボール選手のライフスタイルの国際比較 ～2008国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会を対象として～ | 中道 莉央 | 武庫川女子大学 |
| 535 | その他 | 公共サービスの 評価 | 英国における公共サービスの評価システムとスポーツ施設 | 田中 暢子 | 英国ラフバラ大学大学 院 スポーツ・レジャー政 策研究所 |
| 536 | 脳血管障がい | 投動作 | 脳血管障害者片麻痺の上肢機能回復過程と リハビリテーション体育種目（投動作を中心に）から見る | 橋谷 俊胤 | 山王クリニック 順天堂大学スポーツ科 学大学院 |
| 537 | 高齢者 | エアロビックの運 動効果 | 高齢者におけるエアロビックの運動効果について ～主観的效果と客観的效果について～ | 東 健太郎 | 愛媛医療専門大学校 |
| 538 | その他 | サービス評価 | 交流センター利用者のサービス評価について | 杉本 和則 | オージースポーツ |

第32集
2008年

| 第33集 2009年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|---------|-----------|---|---|---------------------|------------------------------|
| | 539 | その他 | ネットワーク | 障害者スポーツ推進のネットワークづくり | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 540 | 脳性麻痺 | サッカー | わが国におけるCPサッカーの活動状況～アンケート調査からの一考察～ | 村上 はるか | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 541 | 視覚障がい | ゴールボール | 兵庫県下におけるゴールボールの現状 | 平井 奈津子 | 兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター |
| | 542 | その他 | 水泳 | 障がい者のスポーツ参加に関する現状調査～Y県内水泳関連施設へのアンケート調査を通じて～ | 江本 龍平・ 板垣 圭介 | 専門学校YICリハビリテーション大学校 |
| | 543 | その他 | 利用推奨意識 | 交流センター利用者の利用推奨意識に影響を及ぼす要因の検討 | 杉本 和則 | 株)オージスポーツ神戸市民福祉スポーツセンター事業所 |
| | 544 | 知的障がい | ランニング | 重度知的障害児に対する心拍数評価、視覚支援を用いたランニング指導 | 角正 真之 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 545 | その他 | 地域派遣事業 | 地域と取り組む自立活動支援について～広島県立障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター地域派遣事業から～ | 内海 貴之 | 広島県立障害者リハビリテーションセンター |
| | 546 | その他 | 卓球バレー | 卓球バレー～普及活動への取り組み～ | 中島 高洋 | 萩市卓球バレー協会 |
| | 547 | その他 | 射撃 | 障害者の射撃スポーツの現状と今後について | 田中 辰美 | 日本障害者スポーツ射撃連盟) |
| | 548 | 脳血管障がい | 随意運動機能回復 | 握力からみる脳血管障害者の随意運動機能回復 - 握力数字と筋電図 - | 橋谷 俊胤 | ビィガ山王リハビリ |
| | 549 | 重度知的障がい児 | スポーツ活動 | 重度知的障害児入所施設におけるスポーツ活動への支援について | 楯野 貴之 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 550 | 頭部外傷 | トレーニング | 頭部外傷とトレーニング～ベンチプレスへの挑戦～ | 安西 清美 | 福岡市社会福祉事業団 福岡市立障がい者スポーツセンター) |
| | 551 | その他 | パーソナルトレーニング | 障害者スポーツセンターにおけるパーソナルトレーニングについて - 効果を生み出す運動指導 - | 西山 龍之 | 京都市障害者スポーツセンター |
| 552 | 呼吸器疾患患者 | フライングディスク | 呼吸器疾患患者へのフライングディスクを通じた健康づくり～フライングディスク練習中の血中酸素濃度(SpO2), Borg Scaleの変化をもとにした指導～ | 畠山 直美 | NPO法人長野県障がい者スポーツ協会) | |

| 第34集 2010年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|---------|----------|---|--|-------------------|----------------------------|
| | 553 | その他 | 体力評価 | 車椅子バドミントン選手における新たな体力測定を試み | 荒谷 幸次 | 愛知医療学院短期大学 |
| | 554 | その他 | リスクマネジメント | 障害者スポーツのリスクマネジメントに関する一考察 | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 555 | 全ての障がい | スポーツの振興 | 障害者スポーツの振興を支える地域中核組織の充実と持続性を求めて～山口県障害者スポーツ協会の例から～ | 三枝 啓巳 | 一般社団法人山口県障害者スポーツ協会 |
| | 556 | 肢体 | 車椅子バスケットボール | 世界強豪チームのオフense力の傾向 2010車椅子バスケットボール世界選手権バーミンガムを見て | 棚本 貴志 | 大阪市舞洲障害者スポーツセンター |
| | 557 | 肢体 | 車椅子バスケットボール | 女性車いすバスケットボール選手の活動意識に関する一考察 一国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会を対象に一 | 中道 莉央 水谷 豊 | 武庫川女子大学大学院 日本バスケットボール協会 |
| | 558 | 重度知的障がい児 | スポーツ活動支援方法 | 重度知的障害児入所施設におけるスポーツ活動支援方法の工夫について ～MEPARの評価を取り入れて～ | 荒賀 博志 | 奈良教育大学大学院 |
| | 559 | 知的障害児 | ランニング | ランニング中における知的障害児の疲労度の表現方法 | 角正 真之 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 560 | その他 | ウォーキング | 障害のある人のウォーキング教室について 一正常歩行にするための運動指導一 | 西山 龍之 | 京都市障害者スポーツセンター |
| | 561 | その他 | トランポロ・ビックス | ユニバーサルスポーツとしてのトランポロ・ビックスの実践 | 上住 紫 | 神戸市立市民福祉スポーツセンター |
| 562 | 脳卒中片麻痺者 | 握力動作 | 脳卒中片麻痺者の握力動作から見えること 一共同・連合運動の働きから一 | 橋谷 俊胤 | 山王リハビリクリニック | |
| 563 | その他 | ストレッチ | ストレッチを実施することにおける主観的及び客観的な効果 | 松宮 智志 | 京都市障害者スポーツセンター | |
| 564 | その他 | 「指導員」採用 | 障害者スポーツセンター「指導員」採用についての一考察 | 関口 一道 | 長野県障害者福祉センター | |
| 565 | その他 | サービス評価 | 交流センター利用者のサービス評価 一障害者・高齢者・一般利用者それぞれの特徴一 | 高田 友 | 神戸市立市民福祉スポーツセンター | |
| 566 | その他 | 指導課の取り組み | 大阪市長居障害者スポーツセンター指導課の取り組み ～現職（スポーツ指導員）の意識調査から得た人材育成の課題～ | 北林 直哉 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター | |

| 第35集 2011年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|---------------|--|--|-----------------|----------------------------|
| | 567 | その他 | 体操 | 「親子で楽しむ重度キッズ体操クラブ」の活動報告 | 井田 智之 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| | 568 | 脳性麻痺 | シュノーケリング | 脳性麻痺者に対するシュノーケリングの指導事例について | 七田 幸子 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 569 | 片麻痺 | バドミントン 卓球 | 脳卒中片麻痺手指痙縮から随意運動を見る ーバドミントン短ラケット・卓球ラケット握り操作からー | 橋谷 俊胤 | 山王リハビリクリニック |
| | 570 | その他 | サービス評価 | 障害者優先スポーツ施設のサービス評価について ーマネジメントタイプにみた利用満足への影響要因ー | 金山 千広 | 神戸女学院大学 |
| | 571 | その他 | サービスの一元化に関する基礎研究 | 地域における情報サービスの一元化に関する基礎研究 ー兵庫県での取組と考察ー | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 572 | 全ての障がい | 全国大会 | 第11回全国障害者スポーツ大会おいでませ！山口大会に向けた競技人口（選手）確保と競技力向上を求めて～山口県選手団の例から～ | 三枝 啓巳 | 一般社団法人山口県障害者スポーツ協会 |
| | 573 | その他 | 看護師対応 | 「トラブル」看護師対応の考察～継続利用に向けたフォームの作成～ | 中村 直子 | 長野県障害者福祉センター |
| | 574 | 知的障がい | 投動作の変化 | オノマトペ指導法が知的障がい児に与える影響 ー投動作の変化からー | 湯川 静信 | 大阪国際大学 |
| | 575 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 女性車いすバスケットボール選手の活動意識に関する考察（第二報） ー国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会を対象にー | 中道 莉央 水谷 豊 | 武庫川女子大学大学院 日本バスケットボール協会 |
| 576 | その他 | シンクロナイズドスイミング | 障害者シンクロナイズドスイミングの普及に関する考察 ー20回を振り返ってー | 太田 裕子 | 京都市障害者スポーツセンター | |
| 577 | その他 | バレーンバレーボール | 「アダプテッドスポーツ・バレーン（ふうせん）バレーボール」 ーなぜ、ロングマイナー・スポーツとして、改めて注目されているのか～ | 石井 勝治 | 大阪ふうせんバレーボール普及会 | |

| | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|--------|----------------|--|-----------------|--------------------------------|
| 第36集 2012年 | 578 | その他 | 水泳 | ロンドンパラリンピックに向けた活動の報告 ～水泳競技の科学支援の取り組みについて～ | 森井 貴志 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| | 579 | 視覚障がい | ストレッチ | 視覚障害者におけるピラティス・ストレッチ練習の取り組みについて | 蜂須賀 絵里 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 580 | 知的障がい | ノルディックウォーク | 知的障害者のノルディックウォーク ～消費カロリー20%upが簡単に～ | 吉川 史浩 | (株)WAPコーポレーション・エコールKOBÉ |
| | 581 | その他 | スポーツナビゲーション | 「東京障害者スポーツナビゲーション」の紹介 | 井田 智之 | 東京都多摩障害者スポーツセンター |
| | 582 | その他 | 施設・設備のガイドライン試案 | 障害者スポーツ施設・設備のガイドライン試案―兵庫県を事例として― | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター |
| | 583 | その他 | 地域支援の現状と課題 | 地域支援の現状と課題 ～人的資源の観点から～ | 三浦 雄高 | 長野県障害者福祉センター |
| | 584 | その他 | 出前教室 | 「施設」から「地域」へ～特定地域に偏らないおりづる出前教室から～ | 鈴木 裕子 | 広島県立障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター |
| | 585 | その他 | サークル活動 | 佐賀大学生による地域障害者のスポーツ支援 ～サークル活動の実績および今後の課題～ | 今井 康太 | 佐賀大学 |
| | 586 | 精神障がい | フットサル | 精神障害に配慮したスポーツ支援を考える ―フットサルチームの結成に携わって― | | |
| | 587 | 知的障がい | スポンジテニス | 知的障害児・者のスポンジテニスの活動について | 筒井 哲郎 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 588 | 脳性麻痺 | 水泳 | HALLIWICK SWIMMING (ハロウィック水泳法) による指導事例 ―脳性まひ児に焦点をあてて― | 酒井 真衣子 湯川 静信 | 京都市障害者スポーツセンター 大阪国際大学 |
| | 589 | その他 | スポーツ教室 | 「放課後スポーツ教室」の活動報告 ―多種多様な関わり必要性― | 荻野 芳貴 | 公益財団法人 京都市障害者スポーツ協会 |
| | 590 | 知的障がい | スペシャルオリンピックス | スペシャルオリンピックスへの参加によるアスリート達の効果 ―Inclusion の大切さ― | 中塚 磨由美 | NPO法人スペシャルオリンピックス日本・大阪 |
| | 591 | 全ての障がい | スポーツと就労 | 第11回全国障害者スポーツ大会に参加する山口県選手団に対する 「スポーツと就労の状況に関する調査」について | 三枝 啓己 | 一般社団法人山口県障害者スポーツ協会 |

| 第37集 2013年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|--------|--------------------|--|---------------|--------------------------|
| | 592 | 身体 | 車椅子バスケットボール | 女性車椅子バスケットボールアスリートの競技参加実態の分析 ～国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会出場選手の場合～ | 中道 莉央 水谷 豊 | 北海道教育大学 日本バスケットボール協会 |
| | 593 | 聴覚障がい | デフリンピック 陸上競技 | 第22回夏季デフリンピック（ソフィア2013）報告 ～陸上競技のトレーナーで参加して～ | 東口 紘也 | 大阪市舞洲障がい者 スポーツセンター |
| | 594 | 肢体不自由 | セーリング | 肢体不自由児に対するアクセスディンギー・セーリングの有用性 | 小島 匡治 | 障害者スポーツ文化セ ンター 横浜ラポール |
| | 595 | 身体 | スポーツイベ ント | 身体障がい児対象スポーツイベントの報告 ～自主性を導く環境づくりを重視して～ | 荒賀 博志 | 名古屋市障害者ス ポーツ指導者協議会 |
| | 596 | 片麻痺 | 水泳 | 脳卒中片マヒ者に対するクロール指導について | 宮原 あゆみ | 障害者スポーツ文化セ ンター 横浜ラポール |
| | 597 | 全ての障がい | スポーツ医・科学サ ポート体制 | スポーツにおける安心・安全を支える障害者スポーツ医・科学サポート体制について | 三枝 啓已 | 一般社団法人山口県障 害者スポーツ協会 |
| | 598 | その他 | 車椅子バスケットボ ール | 車椅子バスケットボール選手育成教室の取組について | 横田 篤志 | 東京都障害者総合ス ポーツセンター |
| | 599 | その他 | スリングエクササイ ズセラピー | 障害者スポーツセンターにおける“スリングエクササイズセラピー（SE）”の取り組みについて | 佐藤 敬広 | 東京都障害者総合ス ポーツセンター |
| | 600 | その他 | スノーボード | 障がい者スノーボードの取り組みと事例発表について | 二星 謙一 | 一般社団法人障害者ス ノーボード協会 |
| | 601 | 精神障がい | バレーボール | 精神障害者のバレーボールの現状について | 大河原 裕貴 | 名古屋市障害者ス ポーツセンター |
| | 602 | その他 | スポーツ大会 | 地域の障がい者スポーツ大会に関する一考察 | 増田 和茂 | 兵庫県立総合リハビリ テーションセンター |
| | 603 | 脳血管障がい | コンパウンドボウ導 入 | 脳血管障害者におけるコンパウンドボウ導入の一事例 | 石村 祐輔 | 長野県障害者福祉セ ンター |
| | 604 | その他 | | 障害者スポーツ指導者の参加動機と活動内容との関係性 | 行實 鉄平 | 徳島大学 |
| | 605 | その他 | パラリンピック | 国民気質を感じたロンドン2012パラリンピック競技大会～陸上競技 | 橋本 和秀 | 東京都多摩障害者ス ポーツセンター |
| | 606 | その他 | スポーツ医科学研究拠 点 | 障害者スポーツ医科学研究拠点スタート！ | 三井 利仁 | 和歌山県立医科大学 |

| 第38集 2014年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|----------|--|--|-----------|-------------------------|
| | 607 | 視覚 | 陸上競技 | 視覚障がい者短距離ランナーへの指導事例 | 湯川 静信 | 大阪国際大学 |
| | 608 | その他 | シンクロナイズド スイミング | 障害者シンクロナイズドスイミング教室の実践報告 | 中田 千穂 | 京都市障害者スポーツ センター |
| | 609 | その他 | 水泳 | プール利用者への障害別指導法の調査～「入水指導」の取り組み～ | 藤田 麻耶子 | 名古屋市障害者スポー ツセンター |
| | 610 | 障がい児 | 水泳 | 障がい児プール活動への導入 | 山下 真由 | 長野県障がい者福祉セ ンター |
| | 611 | その他 | ボール&コアトレー ニング | 「ボール&コアトレーニング」 | 市村 美生子 | 名古屋市障害者スポー ツセンター |
| | 612 | 知的 | ソフトボール | 知的障がい者のソフトボールの活動と指導法について～舞洲ドリームスの事例を通して～ | 小野 源太 | 大阪市舞洲障がい者ス ポーツセンター |
| | 613 | 全ての障がい | スポーツ団体の組織 化と課題 | 地域における障害者スポーツ団体の組織化と課題について | 三枝 啓巳 | 般社団法人山口県障害 者スポーツ協会 |
| | 614 | 脳性麻痺 | 車いすダンス | G M F C S Level V の脳性まひ者による車いすダンスの実践 | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |
| | 615 | その他 | モデル事業の実施 | 「障害者の健康づくりモデル事業の実施経験」 | 田川豪太 | 障害者スポーツ文化セ ンター横浜ラポール |
| 616 | その他 | 医療推進センター | 和歌山県立医科大学みらい医療推進センター障害者スポーツ医学研究拠点の活動報告 | 三井 利仁 | 和歌山県立医科大学 | |

| 第39集 2015年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-----|---------|----------------------------|--|--------------|-------------------------------------|
| | 617 | その他 | ボランティア | 障害者スポーツ大会へのボランティア参加による障害者に対する意識変化に関する研究 | 藤田 紀昭 | 同志社大学 |
| | 618 | その他 | クラウドファンディング | クラウドファンディングは障がい者スポーツ界を変える～選手自らが広告塔・資金調達～ | 堤 一幸 | ひょうご障害者スポーツ指導者協議会 |
| | 619 | その他 | シッティングバレーボール | シッティングバレーボール体験会の実践報告 | 静 真樹 | 京都市障害者スポーツセンター |
| | 620 | 全ての障がい | スポーツ振興 | 地域のスポーツ振興を推進する取組と課題について～活性化のモデルを求めて～ | 三枝 啓已 | 一般社団法人山口県障害者スポーツ協会 |
| | 621 | 知的障がい | バドミントン | 知的障がい者におけるバドミントンバックハンド指導の一事例 ～ウエスタングリップからイースタングリップへの移行を通して～ | 光吉 直哉 | かがわ総合リハビリテーション福祉センター |
| | 622 | その他 | スポーツ振興 | レーサー用車いすにおけるホイールの回転速度変動の可視化 | 中村 俊哉 | 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 |
| | 623 | その他 | スポーツセンターの取組み | 開所後3年間の堺市立健康福祉プラザスポーツセンターの取組み状況 | 中村 行伸 | 障がい者スポーツ指導者協議会 情報部会 |
| | 624 | 脳血管障害 | スポーツ教室 | スポーツ教室（脳血管障害者対象）の取り組み | 市村 美生子 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 625 | その他 | グループ教室 | 平日利用者増加の取り組みについて～グループ教室を通しての傾向と課題～ | 井坂 真衣子 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| | 626 | 大学生 | アダプテッドスポーツクラブ | 広島大学霞アダプテッドスポーツクラブの活動報告 ～学生にできる障がい者スポーツ支援～ | 小林 拓未 | 広島大学医学部保健学科 |
| | 627 | その他 | スポーツ医科学分野 | 障害者スポーツ医科学分野において我々は何を明らかにしてきたのか？ 文部科学省認定 共同利用・研究拠点・過去2年間の実績から | 上條 義一郎 | 和歌山県立医科大学 みらい医療推進センター障害者スポーツ医科学研究拠点 |
| 628 | その他 | パラリンピック | 地域におけるパラリンピックへの取組みー兵庫県の場合ー | 増田 和茂 | 兵庫県障害者スポーツ協会 | |

| 第40集 2016年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|----------|--------|---|--|-------------------|------------------------------------|
| | 629 | その他 | 陸上競技 | SPORT FOR TOMORROWジンバブエにおける障がい者陸上競技講習会事業報告 | 北林 直哉 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 630 | その他 | ポッチャ | 香川県内のポッチャ競技普及に向けた取り組みについて～香川県ポッチャ協会設立を通して～ | 瀬尾 久美子 | かがわ総合リハビリテーションセンター |
| | 631 | 脳性麻痺 | PCサッカー | 脳性まひ者7人制サッカー（CPサッカークラブ）CP神戸の活動 | 富田 真仁 | CP神戸 |
| | 632 | 肢体 | ハンドサッカー | 重度障がい児も参加できる団体競技ハンドサッカー普及に向けた課題 都立肢体不自由特別支援学校教員を対象にしたアンケート結果より～ | 福西 八光 | 日本体育大学大学院 |
| | 633 | その他 | 車椅子バスケットボール | 国際女子車椅子バスケットボールゲームについての分析 ～持ち点と攻撃パフォーマンスの関係に着目して～ | 城後 豊 | 札幌国際大学 |
| | 634 | 脳性麻痺 | 水中運動と陸上歩行 | 成人脳性まひ者の運動プログラム - 水中運動と陸上歩行 - | 湯川 静信 | 大阪国際大学 |
| | 635 | その他 | 卓球バレー | 卓球バレーの普及と今後の方向性 ～希望郷いわて大会・オープン競技の意義～ | 堀川 裕二 | 日本卓球バレー連盟普及委員会（太陽の家） |
| | 636 | その他 | 余暇活動 | 東広島市障害児余暇活動支援事業について | 井戸口 真子 | 広島県立障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センターおろびる |
| | 637 | 精神 | フットサル | 大阪市長居障がい者スポーツセンターにおける「精神障がい者のフットサル教室」の取り組みについて | 植田 里美 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 638 | 視覚 | 水泳 | 視覚障害者水泳練習日の取り組み～視覚障害者が一人で片側通行できるために～ | 鈴木 武志 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| 639 | 脳性麻痺 | 水泳 | 脳性麻痺児の水泳活動（事例報告） | 柿谷 早紀 川合 歩 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター | |
| 640 | 先天性両上肢欠損 | スポーツ活動 | 先天性両上肢欠損児のスポーツ活動について ～ジュニア運動練習日での活動事例～ | 筒井 哲郎 | 名古屋市障害者スポーツセンター | |

| No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|-----|-----------------|---------------------|--|----------------|--------------------------------|
| 641 | 知的障がい | フットベースボール | 知的障害者スポーツ団体の組織化と課題について ～フットベースボール競技の例を中心として～ | 三枝 啓已 | 社会福祉法人るりがくえん |
| 642 | 視覚障がい | 歩行動作 | 網膜色素変性症による視覚障害が歩行動作に与える影響 | 宇野 直士 | 徳山工業高等専門学校 |
| 643 | その他 | 車いすダンス | タイにおける車いすダンスの試み ～GMFCS Level V の障がい児を中心に～ | 寺田 恭子 | 名古屋短期大学 |
| 644 | その他 | パラリンピックとオリンピック | パラリンピックとオリンピックの理念的関係性に関する一考察 | 藤田 紀昭 | 日本福祉大学 |
| 645 | その他 | パラリンピアン | パラリンピアンにおける「キャリアプラン」についての一考察 | 堤 一幸 | ひょうご障がい者スポーツ指導者協議会 |
| 646 | その他 | スポーツセンターの運営 | 仮設施設での障害者スポーツセンターの運営について | 井田 智之 | 東京都障害者総合スポーツセンター |
| 647 | その他 | スポーツへの連携 | 障害者スポーツへの連携支援（兵庫県の場合） | 増田 和茂 | 兵庫県障害者スポーツ協会 |
| 648 | 知的障がい | バレーボール | 知的障がい者バレーボールの現状と課題～西日本知的障がい者バレーボール連盟の活動をとおして～ | 小田 智佳 | 西日本知的障がい者バレーボール連盟 |
| 649 | 知的障がい | バレーボール | 知的障がい者バレーボール男子チームのトレーナー活動～選手のコンディショニングにおける役割～ | 宿里 真士 | 吉水内科通所リハビリテーション |
| 650 | 知的障がい | 体力測定 | 大阪市長居障がい者スポーツセンターの体力測定について ～知的障がい者を対象とした結果報告と課題～ | 小野 源太 櫻井 俊輔 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| 651 | その他 | 車椅子バスケットボール | 国際女子車いすバスケットボールゲームの分析（2）～持ち点と攻撃パフォーマンスの関係に着目して～ | 上家 卓 城後 豊 | 札幌市立中の島小学校 札幌国際大学 |
| 652 | 脳血管障がい | スポーツ継続と効果 | 脳血管障害者の地域におけるスポーツ継続と効果 | 田川 豪太 | 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール |
| 653 | 脳血管障がい 発達障がい | メディカルフィットネスクラブの役割 | 障がいのある方に対するメディカルフィットネスクラブの役割 ～脳血管障害者の体力トレーニングおよび発達障害児への運動指導をとおして～ | 後藤 健太 | 特定医療法人社団三光会 メディカルフィットネスあいあい倶楽部 |
| 654 | その他 | 日本障がい者体育・スポーツ研究会の推移 | 日本障がい者体育・スポーツ研究会の推移（40年）第3報 | 増田 和茂 | 兵庫県障害者スポーツ協会 |

第41集
2017年

| 第42集 2018年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-------|----------|--|---|--------------------------|----------------------|
| | 655 | 身体障がい | レクリエーション | 身近にあるもの（用具）を活用した地域でのスポーツ・運動教室 ～重複障がい者（身体障がい・知的障がい）を対象として活動より～ | 清水 美沙 | 長野県障がい者福祉センター |
| | 656 | 知的障がい | 体操教室 | 知的障がい者の体操教室について ～地域スポーツ施設への事業展開～ | 内田 喜千 | 名古屋市障害者スポーツセンター |
| | 657 | 重度障がい | 野球 | 重度障がい者による集団スポーツの実践意義 ～特別支援学校における野球実践から学ぶ～ | 後藤 健太 | 中部学院大学 |
| | 658 | 盲ろう者 | レクリエーション | 盲ろう者和其他の参加者がレクリエーションを通して関わりを広げる工夫 | 井之下 真由 | 長野県障がい者福祉センター |
| | 659 | 脳血管疾患患者 | ポールウォーキング | 脳血管疾患患者（片側麻痺者）に対するポールウォーキングの活用についての考察～歩幅とフォームに着目して～ | 日野 真歩 | 長野県障がい者福祉センター |
| | 660 | その他 | オリンピック教育 | 大学におけるパラリンピック教育の学習事例について～IPC公認教材「I'm POSSIBLE」を活用した取り組み～ | 安藤 佳代子 | 日本福祉大学 |
| | 661 | その他 | バドミントン | アメリカにおけるパラバドミントンの現状報告 | 兒玉 友 | 日本福祉大学 |
| | 662 | その他 | 車いすダンス | パラリンピックとアーツ ～車いすダンスの可能性～ | 寺田 恭子 | 桜花学園大学 |
| | 663 | その他 | スポーツ施設 | 障害者優先スポーツ施設における役割モデルの特徴－施設の類型化と「エクスポート型」施設へのヒアリング調査－ | 金山 千広 | 立命館大学 |
| | 664 | 知的・発達障がい | ランニング | 知的・発達障がい者のスポーツ教室での取り組みについて～スポーツ教室からクラブ化に向けて～ | 仲本 清文・根岸 亜文・鳥野 黎 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 665 | その他 | ボランティア | 障がい者地域スポーツ支援ボランティア事業について | 山下 誠司 | 広島県立障害者リハビリテーションセンター |
| 666 | 身体障がい | スポーツ教室 | 地域におけるスポーツ教室の取り組み～なぜ「三豊市楽しくスポーツ教室」に継続して参加しているのか～ | 六条 可奈子 | かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター | |

| 第43集 2019年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-------|-----------|-------------------------------|---|------------------|-------------------|
| | 667 | その他 | リズムトレーニング | スポーツリズムトレーニング | 木野村 健人 | 横浜市体育協会 |
| | 668 | その他 | パラリンピック観戦 | 東京2020パラリンピック競技大会観戦希望に関する研究 | 兒玉 友 | 日本福祉大学 |
| | 669 | その他 | オリンピック・パラリンピック比較研究 | 「オリンピック」と「パラリンピック」の魅力について～アンケート調査による比較研究～ | 安藤 佳代子 | 日本福祉大学 |
| | 670 | その他 | 障害者スポーツに対する意識の研究 | 障害者スポーツに関する経験の違いと障害者スポーツに対する意識に関する研究 | 藤田 紀昭 | 日本福祉大学 |
| | 671 | 発達障がい | インクルーシブ・スポーツ活動 | インクルーシブ・スポーツ活動とFutbol Net（バルサ財団）～特に発達障害の子どもに注目して～ | 大森 恭子 | 日本福祉大学大学院 |
| | 672 | 知的障がい | 柔道教室 | 地域における知的障がい者柔道教室の取り組み－柔道 For All をめざして－ | 植田 真帆 | 日本福祉大学 |
| | 673 | 脳性まひ | 水泳指導 | 初心者の水泳指導報告－脳性まひと視覚障がいがある人の事例をとおして－ | 東口 紘也 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| | 674 | その他 | 指導者の活動 | 障がい者スポーツ指導者の活動モデル試案－兵庫県の事例から－ | 増田 和茂 | ひょうご障害者スポーツ指導者協議会 |
| | 675 | 発達障がい | インクルーシブ体育 | インクルーシブ体育に向けて～エコーキッズ体操クラブ、かでの運動プログラムでの活動から～ | 佐藤 豪 | 東海大学 |
| 676 | 発達障がい | アウトドアスポーツ | 発達障害のある子どもへのアウトドアスポーツの影響 | 内田 匡輔 | 東海大学 | |
| 677 | 身体障がい | 車いすマラソン | 大分国際車いすマラソンにおける国内参加選手半減に対する考察 | 中村 太郎 | 社会医療法人恵愛会 大分中村病院 | |

| 第44集 2020年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
|------------|----------|-----------|---|---|--|--|
| | 678 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | 新型コロナウイルス感染拡大防止策と施設の利用再開について | 中村行伸 | 大阪府立障がい者交流促進センター ファイブプラザ大阪 |
| | 679 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍での障がい者スポーツセンターの取り組み ～大阪市長居障がい者スポーツセンター 一部開館について～ | 内藤一美 野々村和子 | 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 680 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍での障がい者スポーツセンターの取り組み ～大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 一部開館について～ | 大儀昌郁 東口紘也 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| | 681 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍での障がい者スポーツへの影響と行動 ー長野県障がい者福祉センター「サンアップル」(障がい者優先施設)ー | 太田澄人 | 長野県障がい者福祉センター |
| | 682 | コロナ禍での活動 | 車いすダンス | 新型コロナウイルス感染拡大によるサークル活動自粛の影響 ー車いすダンスサークルメンバーを中心にー | 寺田恭子 | 桜花学園大学 |
| | 683 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍における院内学校での体育 ー院内でできること、コロナだからこそ大切にしたいことー | 奥正行 | 大阪府立堺支援学校 大手前分校 |
| | 684 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍における社会福祉施設及び知的障がいのある人のスポーツ活動の現状について ー山口県の例からー | 三枝啓巳 | 社会福祉法人るりがくえん |
| | 685 | コロナ禍での活動 | フライングディスク | オンラインスポーツ交流 ー学校主体によるフライングディスク大会の開催とオンライン大会のもつ可能性ー | 中嶋実樹 | 弘前大学教育学部附属特別支援学校 |
| 第45集 2021年 | No. | 障がい | 種目 | 演題名 | 氏名 | 所属 |
| | 686 | その他 | 研究会の取り組み | 日本障がい者体育・スポーツ研究会の回顧と展望 ～45年の振り返りと今後～ | 増田和茂 | 日本障がい者体育スポーツ研究会理事 |
| | 687 | 東京パラリンピック | 東京パラリンピック | 東京2020パラリンピック 報告会 | 網本麻里 飯倉喜博・ 嵯峨根望・ 日高恒仁 仲本清文 | 車いすバスケットボール女子日本代表 シッティングバレーボール男子日本代表 大阪市長居障がい者スポーツセンター |
| | 688 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | 新型コロナと現場の指導の現状、指導者の試み | 井田智之 田川豪太 太田澄人 東口紘也 佐藤勝枝 | 和歌山県立医科大学 みらい医療センター げんき開発研究所 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 長野県障がい者福祉センター サンアップル 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 東京ポッチャ協会 |
| | 689 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍の経験と今後の課題 | 田川豪太 | 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール |
| | 690 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍におけるスポーツセンターの取り組み ー大阪市舞洲障がい者スポーツセンターの例ー | 東口紘也 | 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター |
| | 691 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | コロナ禍から学んだポッチャ体験教室 | 佐藤勝枝 | 東京ポッチャ協会 |
| | 692 | その他 | バドミントン | 地域スポーツ大会における車いすクラス導入の検証 ーバドミントン大会を事例としてー | 兒玉友 安藤佳代子 三井利仁 藤田紀昭 | 日本福祉大学 |
| | 693 | その他 | パラアスリート | コロナ禍におけるパラストリートダンスの影響と行動 ～兵庫県における取組～ | 増田和茂 吉峯真代 大西正人 東 裕子 豊田幸子 木暮佑紀 阿部裕彦 | 兵庫県パラストリートダンス連盟 |
| | 694 | 発達障がい | レクリエーション | ZOOMを利用した大学生による発達障害児に対する運動・レクリエーション指導の実践報告 | 藤田紀昭 | 日本福祉大学 |
| 695 | コロナ禍での活動 | スポーツ活動 | 新型コロナウイルス感染流行を背景とした障害者優先スポーツ施設の再開情報発信に関する研究 | 金山千広 | 立命館大学 | |